事業シ	·一ト(平成29年度予算、平成28年度決算	[)																
			会計	1 一般会計					1	産業·労働								
事業名	51100 農業委員会運営費	予	款	5 農林水産業	費			合制個別分野	5	農業			市長	長公約				
		算	項	1 農業費				画施策概要	5	担い手の育成・確保			- 1,12	~				
担当課	農政部 農務課 内線 2227		目	1 農業委員会	費			根拠計画										
1.事業	の目的・概要(Plan)													総合計画	回等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目
目的	・優良農地の保全と有効活用の観点から、農業委員会がより一層農 観的・中立的で公正な判断を行う。 ・農業委員会の効率的かつ透明な組織運営を行う。	地保全に資	登する客	概要 ・日常	委員:	会の総会の 農地パトロ	舌動の「見え 公開と、議⊪ 一ル」の実が と解消、違か	事録の公表					担い	手への農地集積率		40.196	40.9%	50%
2事業	の実施結果等(Do)											(千円)	4 3	平成29年度予1	算編成(Action)			(千
<u></u>					H	27				H:	28	(112)		H29予\$		実施計画額		
	歳出事業費			最終予算		決算	草 (a)	当初予算(c	;)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)		要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査	Ē定額-(c
	(職員人件費を除く)			14,	586		13,947	14	,466	14,466	13,904	△ 43		20,019	21,091	21,091		6,6
	国費 ()															
特定財源	県費 (農業委員会費10/10、県移譲事務交付金)	1 :	584		1.682	1	.682	1,682	1,734	52		6,562	5.184	5,184		3,5
	その他(農業者年金業務雑入		,	•	200		1.790		.200	1,200	1.492		!	1.492	1,200	1,200		
一般則				11,3			10.475		,584	11,584	10.678		i	11.965	14,707	14,707		3,1
個票枝番				11,	002		10,475	11.	,004	11,504	10,070	200	<u> </u>	査定額	14,707	説明		0,1
шин	農業委員会委員報酬(委員36名)			9 :	364		9.364	9	.364	9.364	9.364	0			業委員19名	10071		
					-		0,00.		,	3,551	3,001				地利用最適化推進員4	 5名		
	農業委員会委員報酬(地区委員223名)			2	260		2,030	2	,230	2 220	2,020	۸ 10	il	-,				
	辰末安貝云安貝報酬(地位安貝223石)			۷,	260		2,030	2	,230	2,230	2,020	Δ 10	<u> </u>	2,230				
													i 📙					
													iL					
													1					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	合があります。	۰										※入	札に影響するため公開に近	適さないなど、記載省略(※)	する場合があります。		
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施	<u>も</u>		<u> </u>	i	<u>5.平成2</u>	28年度	<u>事業実績、</u>	评価:	等(Check) H2	9.8実施	₩		策の・農林畜産物の	の生産・販売の強化に関	する施策の新規・拡	充を検討す	ること
								会の開催(12回)					美//	地方針 展示留在190				
事業実績	- 農業委員会の開催(13回) ・機関紙の発行(4回) ・機助が有効利用されているか、「農地利用状況調査」を実施(1回) ・行政に対して「建議」を実施し、新年度事業の政策を提言した。(2回))				事業実績	ついて農業 ・農業委員(への説明会	会等に関する法律 委員会等と協議る の選出方法改正し を実施	を行い、 こよる新	正に伴い、農業委員定教 、条例、規則等の整備を 新たな農業委員等の選り 新年度事業の政策提言	:実施 出方法を知ってもらうた		予算		適化推進員の設置(平成 宿小する農家の農地の引		しや新規就	農者へ0
							##	o let 40 44			/== L	***	<u> </u>					
評価等	・建議については、4つの専門部会、役員会、農業委員会活動を通じ 策提言を早期かつ効率的に行った。	、国・県の加	施策の動	向を入手し、施		評価等	た。 ・農業委員:		いた農			支内容の周知を図っ う、委員会業務内容、関	査	務部 定の え方	青査			
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・農業委員会法改正後の委員改選が平成29年度に実施されることに 条例等の整備を行う必要がある。	に伴い、関係	係 □			以降の 考え方	委員と農地 ・農業競争	利用最適化推進 強化プログラムを、将来の農地利用	委員が 積極的	が遊休農地の解消・防止 が連携した活動を行う必 切に活用し、経営の合理 い手等に関する地域の合	要がある。 化・高度化に向け支援			を査定・財務部査定の	りとおり			

22 農務課 1 51100

事業ン	/一ト(平成29年度予算、平成28年度决算。	.)																	
		会	会計	1 一般会計				総基本分野	1 B	産業・労働									
事業名	51200 農業振興地域整備計画推進事業費	3.	款	5 農林水産業	業費			合 個別分野		農業			市長公約	·基幹産業の	のひとつである農林畜産	産業の振興を	目指し、農	木畜産業の	生産基盤
		算 :	項	1 農業費				画 施策概要	1 7	舌気ある農業生産地づくり			111100 20 111	整備に関わ	る活動を支援する施策	を充実します	f.		
担当課	農政部 農務課 内線 2222		目	2 農業総務費	ŧ			根拠計画	農業振	與地域整備計画、産業振り	興計画								
1.事業(の目的・概要(Plan)													総合計	計画等 主な指標		H27実績	H28実績	H31目標
													認定農業	者数			546経営体	545経営体	585経営体
	・農業生産活動に必要な条件を備えた農業地域を保全・形成する。												典業組生	産額(畜産含む	、 年間)		214.8億円	239.7億円	205億円
	・農業災害補償法に基づき、農産物、家畜等の災害に対する共済事業			るよ=		計画(農地利用 の変更等の管		より、集団的優良	2農用地	!の確保に努めるとともに、『	農業者等地域の諸	情勢の変化に対応でき							
	運営することで運営コストの削減と、農家の経営安定、生産支援、地域 集)、組織体制強化を行う。	或支援(情報	め収	·農業	美災害	補償法にかか	る事務を3	3市1村の事務約					担い手へ	の農地集積率			40.1%	40.9%	50%
	・各種団体との情報交換等による地域農業の振興を図る。			・飛り	単農業	振興会、飛騨は	地域農業科	耳生協議会、飛 り	単エアバ	一ク協会等への加入。									
市 #	の中体は甲体(ワー)											(T.E.)	4 777 ===	00年中3	· 生生 / A	1			(7 III)
2.争来(の実施結果等(Do)				-	127				H28		(千円)	4. 平	29年 度寸	算編成(Actio	n) 実施i	上面。秦西		(千円)
	歳出事業費		H	最終予算		決算(·a)	当初予算(۵)	最終予算	決算 (b)	增減 (b)-(a)	盡	求額	財務部査定額	市長到		増減 査	
	(職員人件費を除く)		-		744								4			נאַווו		坦枫 且.	
				82,	,744		82,589	83	3,637	83,637	83,274	685		84,062	83,979		83,979		342
	国費()																
特定財源	県費 (県移譲事務交付金)		45		45		45	45	45	0		30	76		76		31
	 その他(
én. B-1					600		82.544	0.	502	83.592	02.220	605	-	04.022	02.002		02.002		211
一般財				02,	,699	'	02,544	0.0	3,592	03,392	83,229	685		84,032	83,903	=1/	83,903		311
個票枝番	主な事業内容						75.407			75.040	75.010	440	鱼	定額		説	明		
	飛驒農業共済事務組合負担金			/5,	,503		75,497	/:	5,946	75,946	75,946	449	<u> </u>	76,735					
	農業振興地域整備促進協議会委員及び農業経営基盤強化推進会議	委員謝礼			380		276		380	380	161	△ 115		380					
			\rightarrow																
	ı																		
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	らがあります。		$\overline{}$						<u>, </u>	Ĺ	·	※入札に影	響するため公開	に適さないなど、記載省略(※)する場合だ	があります。		
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施	<u> </u>		\downarrow	1	5.平成28	年度 引	業実績、	評価等	等(Check) H29.8	実施	\							
					Ī								施策の	・農林畜産物	匆の生産・販売 の強化	と に関する	も策の新規・	拡充を検討	けすること
				ļ	H								実施方針						
					Ιi														
	・農業振興地域整備促進協議会及び農業経営基盤強化推進会議を各	各1回開催し	た。		H	- <u>f</u>	農業振興均	也域整備促進協	議会及び	び農業経営基盤強化推進会	議を各1回開催し	<i>t</i> =.							
事業実績	・各種団体の活動に積極的に参加し、地域農業の振興を図った。 ・局所的な災害が増加していることから、各種共済の加入を促進した。				Ιi					、地域農業の振興を図った いら、各種共済の加入を促進			担当課						
	「周が的な火音が増加していることがら、皆住大海の加入を促進した。				i		ע הינים ולזניםי	と言が追加してい	.acc	175、古怪天舟の加入を促進	些し た。		予算要求	・農業振興地	也域整備計画の見直し	(諸情勢の変	で化に対応)		
				ļ	li								ポイント						
					H														
					H														
	優良な農用地を確保するために無秩序な農地の開発等を抑制している。	ハく必要があ	5る。	ļ		.,	水稲作付面	面積が減少傾向	にある中	で水稲共済引受面積も年	々減少している。		l						
== /== /==	・園芸施設共済の引受戸数は減少傾向であったが、引受棟数とともに			いることから、担		-[園芸施設#	+済面積は平成	27年度	より857棟(26戸)増加した		農者の育成・確保及び							
評価等	い手への集積、新規就農者の営農が進んでいると考えられる。 ・局所的な災害が増加していることから、今後も各種共済の加入促進に	に努める。			H					進んでいると考えられる。 ょるものの、活動内容につい	へては事業効果を踏	a 当まえて見直す必要が	財務部						
	・各団体は積極的に活動しているが、活動内容については事業効果を		直す必	要がある。			る。						査定の考え方	・積算内容を	精査				
			To	然性. み 羊	H							□ 继性.ጒ羊	.,,,,,						
	・優良農用地を守るとともに、その保全と有効活用の観点から、客観的	内・中立的な		維持·改善 拡大	H							☑ 維持·改善 □ 拡大							
	立場で公正な判断をし、農業振興地域の整備に関する法律に基づき通				H	次年度	局所的な災	災害が増加してい	いることか	いら、今後も各種共済の加え	人促進に努める。	□ 塩人							
考え方	行なうことで、持続可能な農業を目指す。 ・災害補償等を受けられない農業者を減らすため、各種共済制度の加	口入を促進		廃止検討	Ш					対果を踏まえて見直す必要 また見据えた典業施策を検		□ 廃止検討	市長査定		全のとおり				
(担当課)				光五(Kin) H28完了		(担当課)	古俚云藏	テレー倶(型的)(こぞ)	加し、村:	来を見据えた農業施策を検	(自) 9 句。	☐ 从显示(A)	の考え方						
	・事業効果の検証に基づき、より効果的な事業となるよう見直しを行う。	'0		H29完了予定								□ H30完了予定							

事業シ	ノート(平成29年度予算、平成28年度決算	.)														
		会計	1 一般会計				A	産業・労働								
事業名	51300 営農推進対策事業費	予款		費			計 個別分對 5 层				市長公約	・基幹産業の7	ひとつである農林畜産第 6活動を支援する施策を	集の振興を目指し、農	林畜産業 σ	り生産基盤
10 W = 00	(th 71, 40 th 77-20 1.46)	算 項		- th				舌気ある農業生産地づ	(U)		_	整備に関わる	店割を文援する施策を	允美します。		
担当課		目	3 農業振興	質			根拠計画 産業振り	興計画				<u></u>				
1.事業(の目的・概要(Plan)												画等 主な指標	H27実績	H28実績	
目的	・地域の中心となる農業経営体への農用地利用集積を促進し、経営規経営の安定を図るとともに、不作付地の解消を行う。 ・生産調整の確実で円滑な実施。 ・高山営農推進協議会が、各集落における現状の把握、問題点の整理計、各種政策の推進及び研修を行う事で、地域農業の活性化を図る。	理、解決方法 <i>0</i> .	概要 ・ 意	地条件 業経営	に合った水田 体の育成及び	日の有効活用 び強化を行う	の中心となる農業経営体へ 用を促進する。 うため講座や研修会を開 などの農業者団体との連	催する。	ヒを推進する。			の農地集積率		40.1%	40.9%	50%
2.事業(の実施結果等(Do)									(千円)	<u>4.平成</u>	,29年度予	算編成(Action			(千円)
	歲出事業費				127	4.3			28	Wat () ()		H29予;		実施計画額	14 5 5 -4	22,000
	威山争来員 (職員人件費を除く)		最終予算		決算		当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	增減 (b)-(a)	要	京求額	財務部査定額	市長査定額		全定額-(c)
			22	2,726		20,983	24,330	28,073	,	6,294	<u> </u>	27,989	27,104	27,104	<u> </u>	2,774
	国費 (中山間地域等担い手収益力向上支援事業費10/10)						1,577	1,577	<u> </u>					
特定財源	県費 (経営所得安定対策事業費10/10等) 14	4,200		11,252	13,700	17,141	16,311	5,059	L	15,540	15,200	15,200		1,500
	その他(農地集積事業)			20	100	100		I	L	100	100	100		0
一般財			8	8,526		9,711	10,530	10,832	9,389	△ 322		12,349	11,804	11,804		1,274
個票枝番											査	定額		説明		
	水稲病害虫共同防除に対する助成			2,300		1,699	2,300	2,300	1,672	△ 27		2,000				
	農地集積協力者に対する助成			5,000		4,682	6,000	7,196	,	3,539		7,000				
© 1	菌床しいたけ産地強化事業補助金						1,000	1,000	977	977		1,500				
	飛騨の美味しいお米食味コンクール実行委員会負担金						100	100	100	100		1,040 米	<・食味分析鑑定コンク− 	-ル国際大会高山プl 	ノ大会 	
	環境王国認定市町村連絡協議会負担金						_					314				
							_			i j						
											ı					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合									<u> </u>	※入札に影	響するため公開に	適さないなど、記載省略(※)する場合があります。		
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施 	<u> </u>	₩				事業実績、評価等			→	施策の実施方針	・農林畜産物	の生産・販売 の強化	に関する施策の新規	・拡充を検言	討すること
事業実績	・水稲損害防止のための共同防除を実施した団体への助成(11団体、・農地集積協力者への助成(17件、9.6ヘクタール)。 ・施設園芸就農希望者への農地貸付者に対する助成(7件、2.7ヘクター・米の生産数量目標の達成のための助成(1団体)。		ール)。		事業実績	農地集積協施設園芸品菌床ブロッ	協力者への助成(37件、12 就農希望者への農地貸付 少を共同購入した実施団 数量目標の達成のための	2.9ヘクタール)。 け者に対する助成(10件]体への助成(4団体、3	牛、4.2ヘクタール)。		担当課予算要求ポイント	. 级带证组实。	進協議会の活動支援 定対策事業及び農地集	:積事業の推進		
	・農業の担い手(認定農業者)の農地利用集積を促進し、経営規模の ・米の生産数量目標達成のため、経営所得安定対策事業の活用により 作付転換を推進し、水田の有効活用を図った。 ・水稲病害虫共同防除事業補助金により、水稲損害防止のための共同 生産を図った。	り飼料用米等の	の新規需要米への		評価等 :	・米の生産数 作付転換を・水稲病害9 生産を図った	い手(認定農業者)の農地 数量目標達成のため、経2 推進し、水田の有効活用 虫共同防除事業補助金に た。 にけ産地の低コスト生産体	営所得安定対策事業の を図った。 こより、水稲損害防止の	の活用により飼料用米等のための共同防除を促進	等の新規需要米への	財務部 査定の 考え方		精査			
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・「人・農地ブラン」の作成・見直しを通じ、地域の農業者とともに話し合める。 ・農地の中間的な受け皿となる農地中間管理事業を積極的に活用し、 化を推進する。 ・各組織の実施事業や運営状況を精査し、事業効果を検証する必要か	いをすす [. 集積・集約 [がある。 [✓ 維持·改善拡大縮小廃止検討H28完了H29完了予定		次年度以降の考え方(担当課)	・「人・農地で める。 ・経営所得望 り、水田の通	い手(認定農業者)への農 ブラン」の作成・見直しを通 安定対策事業補助金や水 適地適品種の作付けや稲 農推進協議会活動の支援	通じ、地域の農業者とと <稲病害虫共同防除事 3作の安定経営を図る。	ともに話し合いをすす 事業補助金の活用によ 。	✓ 維持·改善□ 拡大□ 縮小□ 廃止検討□ H29完了□ H30完了予定	市長査定の考え方		のとおり			

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

I	事業名	51300 営農推進対策費		☑ H28新規		H29新規		会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
	尹木石	51000 白成征处对来吴	区分	☐ H28拡充		H29拡充	予算	款	5	農林水産費	担当床	废以即 废伤杯
I	枝番·内容	1 菌床しいたけ産地強化事業費	区刀	□ その他重要事業	ŧ		了开	項	- 1	農業費	内線	2222
ı	(大田・17)台	图外007(1) 座地區10事業與						目	3	農業振興費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

7.7/1.0	13 19655 (1. 1711)		
目的	・菌床しいたけ産地の低コスト生産体制の整備及び県産材の利用拡大を図る。	概要	・菌床しいたけ生産団体が菌床ブロックを共同購入する場合、ブロック1個あたり3円を助成する。

[参考] H2	7決算(Do-	Check)	H28.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
了并识	補正等			
	最終			
決算	草額			
対前年度増	減額(決算)			

[参考] H28	3当初予算(Action)	H28.3時点	(千円)
予算額	当初			1,000
主な経費	菌床ブロックのき	共同購入に対	する助成	
対前年度増減	額(当初予算)			1,000
※ 3 封に影響す	- スためハ関に流	さたいたど 言	載火吹(※)オス+	무수보니

※ 3 おに影響するため公開に達	さたいたど	記載	つする場合なし

	事業実績、評価等		
	<u> </u>	_	/# **
次年度以降			
の考え方			
(担当課)			
			H29完了予定

事業内容、スケジュール
事業内容] 共同購入した薗床ブロックに対して1個あたり3円の助成
スケジュール] !7年12月~28年3月菌床ブロック納入

H28決算(I	Oo Check)	H29.8時点	(千円)
	当初		1,000
予算額	繰越		
了 昇領	補正等		
	最終		1,000
決算	草額		977
対前年度増	減額(決算)		977

	事業実績、評価等		
[事業実績] ・4団体 325,58	5ブロック に対して助成		
[評価] ・菌床しいたけら が図れた。	上産者の低コスト生産体制の整備	及び県	産材の利用拡大
	岐阜県しいたけ産地活性化事 業実施要領に基づき実施する。	Ø	維持·改善
次年度以降	ススルロメートに全ってスルビナーの。		-
の考え方			縮小廃止検討
(担当課)			
			1120元]

_	H29当初予	算(Action)H29.3時点	(千円)
	予算額	当初		1,500
	主な経費	菌床ブロックの	共同購入に対する助成	
	対前年度増減	額(当初予算)		500

对别十块相似银(当70)了异/	300
※入札に影響するため公開に適さ	ないなど、記載省略(※)する場合あり
事業内容、	. スケジュール
[事業内容] 共同購入した菌床ブロックに対して	1個3円の助成
[スケジュール] 28年12月~29年3月菌床ブロック	ク納入

22_農務課_4 51300-1

事業シ	·一ト(平成29年度予算、平成28	3年度決算)															
			会計	1 一般会計				総 基本分野 1	産業·労働								
事業名	51305 農業体験施設等管理事業費	予	款	5 農林水産業	費			āT	観光			市長公	約				
+D 1/ =B	曲下前 曲次==	算 第 2225	項	1 農業費 3 農業振興費	ė.				滞在型・通年型の観光	地づくり							
担当課		2225	目	3 展果振興負	Į.			根拠計画産業	長興計画				40.4.71			(d)	*
1.事業	の目的・概要(Plan)											+ 10+1	10.000	画等 主な指標	H27実		
			ļ									新規就	養者数 —————		17人	. 28人	30人
	・都市と農村との交流増加による地域の活性化 ・農業体験、自然体験を通じた子供たちの健全育成		Ų	- 施彭	を活り	用し、農業が	·験、自然体	:験の場を提供する(巣里	予俣野外研修施設、すの	またふるさと学校体験:	学習施設、彦谷の里滞						
目的	・生産、収穫などの農業体験を通して、家族とのふれ する理解を深める。		重物に対	概要 在型	農園施	·設、清見里	人学校、お		-、荒城農業体験交流館								
	・生きがいをもち、健康的でゆとりのある生活の実現:	を図る。	Ų	7 th 2	:23410	カいファミリー	一辰圏で促い	供する(塩産、下切)。									
2事業											(千円)	4平6		算編成(Action	n)		(千円)
					H	27			H2	28			H29予	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	実施計画額		28,000
	歳出事業費 (職員人件費を除く)			最終予算		決算	[(a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)		要求額	財務部査定額	市長査定額	増減	査定額-(c)
	(収貝八円貝で你\/			28,	,640		28,152	26,540	29,540	29,178	1,026	1	37,507	26,600	26,60	00	60
	国費()														
特定財源	県費 ()														
	その他(指定管理事業雑入(農業施設)等)	2,	,267		2,068	2,259	2,259	1,516	△ 552		2,226	2,259	2,2	59	0
一般財	 			26,	,373		26,084	24,281	27,281	27,662	1,578		35,281	24,341	24,3	41	60
個票枝番	主な事業内容												査定額		説明		
	荒城農業体験交流館ほか5施設の管理運営(指定管	萱 理)	ļ	24,	,600		24,328	24,500	24,500	24,292	△ 36	il	24,600				
					\neg												
					\dashv												
					-												
					\dashv							-					
	 	養に一致しない場合がありま	:す。	<u> </u>	_							※入札に	影響するため公開に	こ適さないなど、記載省略()	※)する場合があります		
3.平成	27年度事業実績、評価等(Check)	H28.8実施		V	1	5.平成:	28年度₹	事業実績、評価	等(Check) H2	9.8実施							
- 1 ,,,,					ΙİΙ	7 1 7,74	<u> </u>		., (5.1.551.)		Ť	施策の		戏・確保に関する施策の)新規・拡充を検討で	けること	
							l					実施方	針				
							I										
主要宝结	・6施設の利用者数(指定管理事業のみ) 9,624人 ・荒城農業小学校参加児童数 76人					主業宝结]用者数(指定管理事業 小学校参加児童数									
尹未大帜	·市民農園利用区画数 塩屋農園 50区画、下切農園	園 39区画				尹未大帜			48区画、下切農園 40	区画		担当該					
							I					ア昇安ポイン	求・施設の適正ト	.な官理			
							I										
																	
	 ・地元団体による安定運営をめざし、利用者が増加す	する取り組みをすすめなれ	がら、地元「	団体への譲渡を			l										
評価等	検討する必要がある。 ・譲渡にあたっては、補助金適正化法による制限に発	翌章する必要がある。			H	評価等			体験、自然体験の場を拮 引い、利用者が快適に利								
	・農園の空き区画数が増加傾向にあるため、利用者の		いて工夫し	ていく必要があ		B1 IIII 45			ページなどの媒介により			財務部 査定の・・積算内容を精査					
	.				l i					考え方							
	・指定管理者と協力しながら、農業体験、自然体験の	D場を提供し、地域の活性	エコレ	維持·改善			指定管理:	者と協力しながら、農業	体験、自然体験の場を持	是供し、地域の活性化	☑ 維持·改善						
次年度	をめざす。 ・地元団体への譲渡について、補助金適正化法によ			拡大		火平及	をめざす。		カ金適正化法による制限		□ 拡大						
以降の 考え方	వ .			縮小 廃止検討		以降の 考え方	る。				□ 縮小 □ 廃止検討	市長査		⊋のとおり			
(担当課)	・利用者が快適に利用できるよう、引き続き適正管理 ・広報たかやまやヒッツFM、ホームページなどの媒体			H28完了		(担当課)	広報たかも		引き続き適正管理に努め ページなどの媒体により		☐ 烷五(Kin)	の考え	万	= 00 /			
	ి కే			uoo는フ로는	$\iota : I$		る。				□ 비20字구국史						

22 農務課 5 51305

争業ン	/一ト(平成29年度予算、平成28年度决算	-)															
			会計	1 一般会計					産業・労働								
事業名	51310 農作物獸害防止対策事業費	予	款	5 農林水産	業費			合 個別分野 5	農業			市長公約	·基幹産業	の一つである農林畜産業	の振興を目指し、農村	林畜産業の	生産基盤整
		算	項	1 農業費					農山村集落機能の維持			1,224,3	備に関わる	活動を支援する施策を充	実します。		
担当課	農政部 農務課 内線 2223		目	3 農業振興	費			根拠計画鳥獣袖	坡害防止計画、産業振り	計画							
1.事業(の目的•概要(Plan)												総合	計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
												鳥獣による	5農作物被害	評面積(年間)	40ha	27ha	50ha
				1													
- AA	鳥獣被害に強い地域づくり、安定した農業経営及び農作物の生産を関	図ること	:により、農					対策の推進(研修会の開			- 7						
目的	業生産意欲の向上と耕作放棄地の発生を抑制する。							鳥獣捕獲隊に有害鳥獣の 捕獲技術者の確保・育		つ適正な拥獲を美施り	ବം						
				1													
				1													
2車業の											(千円)	4平成	29年度:	予算編成(Action)		(千円)
					ŀ	127			H2	8	,,,,,,	1. 1 /2		予算	実施計画額		152,000
	歳出事業費			最終予算	Į	決算	(a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査	定額-(c)
	(職員人件費を除く)			15	2,460		94,950	156,660	156,660	87,674	△ 7,276		140,918	139,320	139,320		17,340
	国費(-		\rightarrow			·	·						
*****					7 70 4		07.547	20.070	20.070	47.404	0.077	<u> </u>		57.400	F7.400		10070
特定財源	県費 (鳥獣被害防止対策事業費10/10等)	5	7,794		37,517	68,278	68,278	47,194	9,677	i	57,615	57,402	57,402		\$ 10,876
	その他()														
一般財	源			9	4,666		57,433	88,382	88,382	40,480	△ 16,953		83,303	81,918	81,918		△ 6,464
個票枝番	主な事業内容											査	定額		説明		
	鳥獣被害防止柵設置に対する助成(市単独)			4	3,800		33,904	43,000	43,000	16,418	△ 17,486		32,300	農作物獣害防止対策事	業補助金		
				5	0.000		30.829	50,000	50.000	39.481	8,652		40.000	鳥獸被害防止総合対策	整備事業補助金		
	有害鳥獣の捕獲、捕獲技術者の育成				0,665		22,978	48,000	48,000	23,212			51.000	捕獲技術者育成報奨金	有害鳥獸捕獲報價金	金、狩猟捕獲	養特別奨励
								·	·	<u> </u>		-		並			
	鳥獣被害対策実施隊			 '	6,400		5,745	6,400	6,400	6,025	280	i	6,400	鳥獣被害対策実施隊員	段酬		
	ニホンジカの個体数調整捕獲			1	1,335		1,335	9,000	9,000	2,410	1,075		9,000	ニホンジカの個体数捕獲	事業		
				ĺ													
				l													
	 ※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	合がありま	ます。									※入札に影	響するため公開	 に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。		
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施	瓶		\downarrow	1	5.平成2	8年度』	事業実績、評価 等	等(Check) H2	9.8実施	\downarrow						
//					Τi	311,77	- 1.2		, (施策の	- 趙宝陆止	対策の推進に関する施策	の新担・拡充を検討	ナスニレ	
					11							実施方針	1000	/ 木の 正に 内 / の心木		, acc.	
					Ηi		/3 2 D± .1 (** *** ****	057.51							
	・侵入防止柵の設置支援(実施個所数:81箇所、受益面積:245.8ha) ・有害鳥獣捕獲隊員数 299名(免許所持者:170名、補助者:129名)				11			冊の設置支援:実施個所 浦獲隊員数 315名(免記									
事業実績	•捕獲技術者育成 14名	h = 0	055 + = 7	0533	Ηì	事業実績 ·	•捕獲技術都	者育成 17名			h== 1733	担当課					
	・捕獲数量(有害) イノシシ:494頭、サル:112頭、ニホンジカ:240頭、 ・狩猟捕獲特別報奨 イノシシ:53頭、ニホンジカ個体数調整捕獲 94		3頭、カノへ	: 3044	11			〔有害〕 イノシシ∶648頭 特別報奨 イノシシ∶96頭			JJX:1744	予算要求		客ぐるみの取組の推進 の体制強化			
					Ηì							ポイント	H D JM JQ	0) E(tri) 15			
					H												
=11/14/4=	・地域ぐるみでの取り組みをすすめるとともに、事業効果の検証を行う	う必要が	゙ ある。		H	評価等	·鳥獸被害;	対策実施隊への民間隊	員の加入について、次年	度からの導入に目処:	がついた。						
計画寺	・駆除鳥獣肉の活用を促進する必要がある。 ・新射撃場の建設計画を早期にまとめる必要がある。					計画寺	地域ぐるみ	♪での取り組みを推進す	る上で、地域ぐるみの捕	i獲体制作りを進める必	要がある。	財務部	***				
												査定の考え方	- 恒昇内谷	内容を精査			
				維持·改善							☑ 維持·改善		4				
				拡大							□拡大		\vdash				
	・地域ぐるみの対策強化 ・捕獲鳥獣肉の有効活用			縮小				い地域ぐるみの鳥獣被害	学防止対策や、鳥獣の個	体数管理等を総合的	□ 縮小		4				
考え方	・鳥獣被害対策実施隊の制度化促進			廃止検討	H	考え方	に行い、被記 ・射撃場整備	害軽減を推進する。 備の促進			□ 廃止検討	市長査定の考え方		定のとおり			
(担ヨ誄)	・射撃場整備の促進			H28完了		(担当課)					☐ H29完了	37.57.73	4				
				H29完了予定	1.1						□ H30完了予定						

22. 農務課_6 51310

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51310 農作物獸害防止対策事業費		✓ H28新規	☐ H29第	新規		会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
争未石	51010 废作物的自构业对水平未更	区分	□ H28拡充	☐ H29∄	拡充	予算	款	5	農林水産業費	担当杯	辰以印 辰彷杯
枝番·内容	1 ニホンジカの個体数調整捕獲	区刀	□ その他重要事業			17 开	項	1	農業費	内線	2223
权钳 内谷	一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						目	3	農業振興費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

サネツロリ			
	・ニホンジカの個体数調整捕獲を実施することにより、増えすぎたニホンジカを適正な数に調整し、 農業被害の軽減を図る。	概要	・岐阜県第二種特定鳥獣管理計画(H28.4.1~H31.3.31)に基づき実施するニホンジカの個体数調整事業(県単事業、補助率10/10)

[参考] H27決算 (Do・Check) H28.8時点 (千円) 当初 繰越 補正等 最終 9,000 決算額 対前年度増減額(決算) 1,335 1,335 1,335

[参考] H28	3当初予算(Action)	H28.3時点	(千円)
予算額	当初			9,000
主な経費	ニホンジカ個体 ニホンジカ個体			
対前年度増減	額(当初予算)			9,000
※入札に影響す	るため公開に適	iさないなど、	記載省略(※)する	場合あり

H28決算(I	Do • Check)	H29.8時点	(千円)		
	当初		9,000		
予算額	繰越				
了并识	補正等				
	最終		9,000		
決算	草額		2,410		
対前年度増減額(決算)			1,075		

H29当初予	算(Action)H29.3時点	(千円)
予算額	当初		9,000
主な経費		数調整捕獲報償金 数調整捕獲参加報償金	
対前年度増減	額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さた

事業実績、評価等
[事業内容]
・ニホンジカの個体数調整捕獲に対する捕獲報償金 94頭
・ニホンジカの個体数調整捕獲への参加に対する報償金 79人
[評価]
・天候不順(大雪等)により計画どおりの捕獲が出来なかった。

·岐阜県第二種特定鳥獣管理

計画に基づきニホンジカの個体

数調整事業を実施する。

次年度以降 の考え方 (担当課) □ 維持·改善

□ 廃止検討□ H28完了□ H29完了予定

☑ 拡大

事業内容、スケジュール					
[事業内容]					
・ニホンジカの個体数調整捕獲に対する捕獲報償金 600頭					
・ニホンジカの個体数調整捕獲への参加に対する報償金 600人					
[スケジュール]					
·H28年11月~H29年3月 個体数調整捕獲実施					

事業実績、評価等							
・ニホンジカの個	サネス様、計画や 相体数調整捕獲に対する捕獲報億 は数調整捕獲への参加に対する に対する に対する に対する に対する に対する に対する	報償金	₹ 64人				
次年度以降 の考え方 (担当課)	・岐阜県第二種特定鳥獣管理 計画に基づきニホンジカの個体 数調整事業を実施する。		維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 H29完了 H30完了予定				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり									
事業内容、スケジュール									
事業内容]									
ニホンジカの個体数調整捕獲に対する捕獲報償金 600頭									
・ニホンジカの個体数調整捕獲への参加に対する報償金 600人									
[スケジュール]									
·H29年11月~H29年3月 個体数調整捕獲実施									

22. 農務課 7 51310-1

尹未ン	一卜(平成29年度予算、平成28年度决算)																
			計 1 一般会				総基本分野合		産業・労働								
事業名			項 1 農業費 計 施策概要 5 担い手の育成・確保					市長公約	・基幹産業の	の一つである農林畜産業の 活動を支援する施策を充実)振興を目指し、農木 ▶」まま	*畜産業の生	上産基盤整				
担当課	農政部 農務課 内線 2224		月 1 農業損 日 3 農業損				画 施策概要		型い手の育成・催保 ・興計画			_	川に対わる	/自到で又版り (3)肥果で几:	EC 4 9 .		
			3 辰未加	央貝			似灰山凹	庄未协	(央市画				40.4.				
.事業の	D目的·概要(Plan)											etta alte alam al a		十画等 主な指標		H28実績	
												農業粗生	産額(畜産含む	む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億円
目的	・農業を行うために必要な資金を利用しやすくすることで、農業経営の改	対善を図る	概要	農業経営	基盤強化資	金などの借	入資金にかかる	利子を補	「給(助成)する。								
**	D 中 长 杜 田 体 /D \										(5.7)	4 377 ===	00 左 幸 3	7 年 4元 -			(T.T.)
. 争 来 (D実施結果等(Do)				H27				H28		(千円)	4.平风	29年 度 了 H29 ⁻	F算編成(Action)	実施計画額		(千円) 1,400
	歳出事業費		最終音		決算	[(a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	增減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額	増減 杳	r,400 定額-(c)
	(職員人件費を除く)		2013	3,800		3,580		.451	2,451	2,449	Δ 1,131		1,372	1,372	1,372		△ 1,079
	国費(`	0,000		0,000		., 101	2,101	2,110	2 1,101	 	1,072	1,072	1,072		
生中肝液			,	1 745		1 745		200	1 000	1 000	A F40	 	660	667	007		A F05
特定財源	県費 (農業経営基盤強化資金利子補給金 1/2		,	1,745		1,745		,202	1,202	1,202	△ 543	<u> </u>	666	667	667		△ 535
	その他()														
一般財				2,055		1,834		,249	1,249	1,247	△ 587		706	705	705		△ 544
固票枝番	主な事業内容											査	定額		説明		
	農業経営基盤強化資金利子補給金			3,491		3,490	2	,405	2,405	2,403	△ 1,087		1,334				
												1					
			+														
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合か	ベキリナナ										× 3 ±1/	要するため八四	に適さないなど、記載省略(※)	オス提合がおります		
	7年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施			1	5 亚蛉?	0年申1	E 学生结	河 (田)	等(Check) H29.8	宇体		※八七に影	当 9 切たの 五田	に晒でないなど、心軟目的(次)	9 O 481 E 10 10 10 15 4 9 6		1
- 干风2	/牛及爭未关模、計圖寺(Offeck) Fize.0关心		▼	i :	5.干,及2	0十尺号	P未天限、	тшт	F(Check) HZ9.	>天心		施策の					
												実施方針					
				H													
	エルフ 4世4人 14 巻 10 5 14					ションナル	## 110 <i>l</i> #										
事業実績	·利子補給件数 135件 ·新規借入申込件数 26件			Ηi	事業実績	·利士補給1 ·新規借入	牛数 110件 申込件数 16件					担当課					
												予算要求	·農業経営基	基盤強化資金の利子補給			
				Ιi								ポイント					
				Hi													
				⊢i													<u> </u>
				i													
評価等	- 緊急景気対策としての利子補給は、景気の動向等を踏まえて事業の必	必要性につ	ついて検討する。		評価等	·緊急景気:	対策としての利う	補給は	、景気の動向等を踏まえて	事業の必要性につ	いて検討する。	日十三欠 立印					
				- 1								財務部 査定の	・要求どおり	ı			
												考え方					
			☑ 維持·改善								☑ 維持·改善						
次年度			拡大		次年度						□拡大						
以降の 考え方	・農業を行うため必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。		□ 縮小 □ 廃止検討		以降の 考え方	・農業を行う	農業を行うため必要な資金を利用しやすくするため、今後も継続する。			□ 縮小 □ 廃止検討	市長査定		・財務部査定のとおり				
(担当課)			□ 規定(表記) □ H28完了		(担当課)						□ A29完了	の考え方	MINUREX	, _00 /			
			☐ H29完了予算								□ H30完了予定						

22 農務課 8 51315

事業シ	vート(平成29年度予算、平成	28年度決算))													
			会計	1 一般会計			総 基本分野 1	産業·労働								
事業名	51320 新規就農者等育成支援事業費		予 款 算 項	5 農林水産業	養		āT	農業			市長公統			業の振興を目指し、農	林畜産業の	生産基盤整
担当課	農政部 農務課	内線 2224	算 項	1 農業費 画 施策概要 5 担い手の育成・確保 3 農業振興費 根拠計画 産業振興計画				備に関わる活動を支援する施策を充実します。								
		内禄 2224	H	3 農業振興費	£		<u>依拠計</u>	振興計画				₩ Λ∃. =	ゲ 	11031004	LICOTO	, LIO4 D ##
1. 事業	の目的・概要(Plan)										****		等主な指標	H27実績		
目的	・次代を担う新規就農者及び農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に 発展させる。			概要・新規・農業	・就農希望者を対象とした実践的な就農研修支援事業の実施 ・新規就農者等の農地賃借料に対する助成 ・農業後継者団体等に対する助成及び農業後継者における海外研修に係る経費に対する助成						新規就是	《名数		17人	28人	30人
				・認定	· 3新規就 	農者等の経営を安定	させるために給付金を	給付			L					
2.事業	の実施結果等(Do)									(千円)	<u>4.平瓦</u>	29年度予算	[編成(Actio			(千円)
	歳出事業費				H2		Markov TP Mr. ()	1	28			H29予算		実施計画額	124.545	71,000
	級山尹未貞 (職員人件費を除く)			最終予算	200	決算 (a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	- 5		財務部査定額	市長査定額		査定額-(c)
				46,	,906	34,786	75,580	71,852	60,349	25,564	<u> </u>	79,440	78,350	78,350	4	2,770
	国費()								<u> </u>					
特定財源	県費 (青年就農者支援事業費10/10、就農))	,	,506	32,725	60,300	,	52,286	19,561	i	63,869	63,300	63,300		3,000
40.5	その他(夢・まちづくり基金収入、飛騨高山る	んるさと基金繰入金)	,	,003	705	1,003	,	384	△ 321		803	2,803	2,803		1,800
一般則 個票枝番		- m		4,	,397	1,356	14,277	14,292	7,680	6,324		14,768	12,247	12,247		△ 2,030
個票校		N 谷			000	771	000	000	550	A 010	1	* 定額	1 計曲 本担 掛 廿 土 1			
	新規就農者の経営規模拡大に対する助成			<u> </u>	800	771	800			Δ 213		,	見就農者規模拡大事	●未 補 助並		
	就農体感ツアー、就農移住相談会ほか			ļ	500	0.700	695		602	602		680	n db 444 TT 145 41 45 57 11	13 L. E. B. C. S.		
	就農希望者に対する実践的な農業研修の支援			,506	3,720	5,100		· ·	430		*	男農業研修生を受け 	入れた農家への謝礼			
	45歳未満の独立・自営就農者に対する助成			<u> </u>	,000	19,125	55,500	· ·	41,911	22,786	i—	58,500				
© 1	農業後継者に対する助成(農業後継者の経営者			,	,000	10,000	10,000	,	,	2,000	l	10,000				
	農業後継者に対する助成(農業団体への活動に	に対する助成)		1,	,900	1,170	1,900	1,900	1,129	△ 41		1,270				
	WT014-4-5-5-5-5-5-11-4-11-4-4-0-5-11-5-11-	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	12± 11±±								N/ 1 #1/=	V網上7.4.4.0.0012.19		WA - 7 H A 17 - 11 - 1		
o ====	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳じ						+ 44-ch 4+ == In	·Marian III II			※人札に	影響するため公開に適	さないなど、記載省略(※)する場合があります。		
3.平放	27年度事業実績、評価等(Chec	:K <i>)</i> H28.8 <u>美</u> 施	•	•			卦来 	等(Check) H2 ^{D受入 10名}	<u> </u>	V	施策の実施方針		雀保に関する施策 <i>の</i>)新規・拡充を検討する	っこと	
事業実績	- 4Hクラブ、JAUど青年部、指導農業士会等の) - 農業後継者就農給付金等による後継者就農等 - 新規就農者等への農地賃借料に対する助成 - 青年就農給付金の給付等による新規就農者等 - 新規就農相談件数 108件	等への支援を新設 10名 17名				事業実績 ・無業後継 ・新規就農 ・青年就農	者就農給付金等による 者等への農地賃借料に	農業士会等の活動に対す 後継者就農等への支援 対する助成 13名 新規就農者等への支援	12名		担当課予算要求ポイント	要な経費を計上	: 性化を図るために娘	営体へと発展し、農業 必要な農業後継者団体		
評価等	・就農希望者等が安心して農業に取り組めるよ 的な発信により、新規就農者等の確保及び農業			援情報等の積極					支援やフォローアップ及 を図っていく必要がある		財務部 査定の 考え方	・積算内容を精	査			
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・青年就農給付金等の支援事業を積極的に活斥を図ることにより農業への定着に導く。 ・各種就農相談会等を活用し、高山市の支援情		ローアップ □	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 H28完了 H29完了予定		大学の を図ること	こより農業への定着に	: 積極的に活用し、新規: 尊く。 山市の支援情報を積極		✓ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 H29完了 H30完了予定	市長査気の考える		とおり			

22 農務課 9 51320

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	51320 新規就農者等育成支援事業	区分	□ H28新規		H29新規		会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課	
	51020 机风机反右导性风火极手术		☐ H28拡充		H29拡充	予算	款	5	農林水産業費	担当杯		
枝番·内容	1 農業後継者等就農給付金	四刀	☑ その他重要事業		1, 光	項	1	農業費	内線	2224		
次田· 內谷	一 废未以作日子师原中门业						目	3	農業振興費	作成年月	H29.8	

事業の目的・概要(Plan)

チャッロー	FAOID MAC (Fidil)									
目的	・次代を担う農業後継者等の育成・定着を図り、地域農業を持続的に発展させる。	概要	・農業後継者等の経営を安定させるために給付金を給付							

[参考] H27	7決算(Do•	Check)	H28.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			10,000
了异创	補正等			
	最終			
決算	算額			10,000
対前年度増	減額(決算)			10,000

[参考] H28	3当初予算(Action)	H28.3時点	(千円)
予算額	当初			10,000
主な経費	農業後継者等家	尤農給付金	10,000	
対前年度増減	額(当初予算)			10,000
※入札に影響す	るため公開に適	iさないなど、	記載省略(※)する	場合あり

対前年度増	減額(決算)	10,000						
事業実績、評価等								
【事業実績】 ·農業後継者等	就農給付金によ	る後継者就農等	への支	援を新設 10名				
【評価】								
後継者等のフォ	就農給付金等の ローアップを図る 会等を活用し、高	ことにより農業へ	の定剤					
	・農業後継者等	就農給付金等	Ø	維持·改善				
	の支援事業を積 農業後継者等の	極的に活用し、		拡大				
次年度以降 の考え方	を図ることによりに導く。			縮小				
(担当課)	·各種就農相談			廃止検討				
	高山市の支援情 発信する。	育報を積極的に		H28完了				
				H29完了予定				

	事業内容、スケジュール	
[事業内容]		
農業後継者等就農給係	寸金による後継者就農等への支持	爰
[スケジュール]		

H28決算(I	Oo • Check)	H29.8時点	(千円)
	当初		10,000
又答奶	繰越		0
了异创	補正等		2,000
	最終		12,000
決算	草額		12,000
対前年度増	減額(決算)		2,000
	予算額決算	当初 繰越 補正等	当初 繰越 補正等 最終 決算額

× 100	1100 LDC (10 C 9T-)			2,000
	事業:	実績、評価等		
【事業実績】				
•農業後継者等	就農給付金による	る後継者就農等	への支	援 12名
【評価】				
後継者等のフォ	就農給付金等の ローアップを図る 会等を活用し、高	ことにより農業へ	の定剤	を図った。
	・農業後継者等 の支援事業を積		Ø	維持·改善
	農業後継者等の	フォローアップ		拡大
次年度以降 の考え方	を図ることによりに導く。	農業への定着		縮小
(担当課)	·各種就農相談:			廃止検討
	高山市の支援情	青報を積極的に		H29完了
	発信する。			

H29当初予) 算(Action) H29.3	3時点	(千円)
予算額	当初			10,000
主な経費	農業後継者等家	尤農給付金	10,000	
対前年度増減	額(当初予算)			0

対前年度増減額(当初予算)	0
※入札に影響するため公開に適	iさないなど、記載省略(※)する場合あり
事業内容	容、スケジュール
[事業内容]	
・経営リスクがある農業後継者等	そへの助成
[スケジュール]	

22_農務課_10 51320-1

_____ ☐ H30完了予定

争耒ン	一下(平成29年度予算、平成28年度决算))																		
		会	計 1	一般会計				総基本	卜分野	1 産	業・労働									
事業名	51325 地域特産物振興助成事業費	1		農林水産費	Ĕ.			āT		5 農					市長公約 か無せる	の安価な輸入品に対抗	できるととも	こ、国内消費	者にも満足	≧されるよう
				農業費				画施第			ランドカのある安全・3	安心な産地産品づく	J		な農林台	産物のブランド化を強化し	ンます 。			
担当課	農政部 農務課 内線 2225		3	農業振興費	ľ.			根拠計	画	主業振興	4計画									
.事業(の目的・概要(Plan)													_ [総合	計画等 主な指標		H27実績	H28実績	H31目標
														農	農業粗生産額(畜産倉	む、年間)		214.8億円	239.7億円	205億円
				. 久即	心に広	じた下記の	117年41年1	更 する経費	1-5+1 結	計会を	- 交付									
目的	・地域の特色ある産地産品づくりを推進するため、特色ある農産物の扱 それらの生産者組織を支援することにより、地域特産物の生産拡大、高			一 【ステ	ツプ1 き	発掘】 地均	【の特色を注	舌かして取り	り組もうと	とする新	たな農産物の選定、	栽培技術の確立及び	が生産販売体系の構築等	-						
	品開発等を促進し、地域の活性化を図る。	D 111 54 10 1 1	91101 1963	【人丁							くや高品質化 新商品開発や販売促	准活動		1 -						
					,		*** 17.00.		21/301											
2.事業(の実施結果等(Do)												(千円) 7	I.平成29年度	予算編成(Actic	n)			(千円)
					H27	7					H2	8		TIE		9予算	実施記	十画額		3,000
	歳出事業費 (職員人件費を除く)			最終予算		決算	(a)	当初音	予算 (c)		最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)		要求額	財務部査定額	市長査	定額	増減 査	定額-(c)
	(概長八円貝で例べ)			3,0	000		824		3,0	00	3,000	40	7 △ 41	7 ¦	3,000	3,000		3,000		0
	国費()											715						
持定財源	県費()											1:1-						
· › · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										-				$\exists \vdash$						
	その他()											444						
一般財	源			3,0	000		824		3,0	00	3,000	40	7 △ 41	7 L	3,000	3,000		3,000		0
固票枝番	主な事業内容														査定額		説	明		
	地域特産物発掘(新たな農産物の選定、栽培技術・販売体系の確立へ	への助成)		1,0	000				1,0	00	1,000			Ш	1,000					
	地域特産物育成(生産拡大や高品質化への助成)			1,0	000		634		1,0	00	1,000	6	1 △ 57	3 ¦	1,000					
	地域特産物振興(新商品開発や販売促進活動への助成)			1.0	000		190		1.0	00	1,000	34	6 15	6	1.000					
				-,-					-,-	-	.,		1	1:1-	.,					
														$\exists \vdash$						
														414						
														Ш						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	があります。								-	L				(入札に影響するため公	開に適さないなど、記載省略	(※)する場合か	があります。		
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施	į	\downarrow	,	¦_5	5.平成2	8年度	事業実 績	漬、評	価等	(Check) H29	9.8実施	\	_ [[-
					l i 🗖									٦IJ.		物の生産・販売の強作				
														i ²	美施力計 ・飛騨高山	ブランド戦略の推進に関	目9 る他東の	新規・拡充を	快討りるい	-2
					l i l									-Ii⊩						
	・ステップ2 飛騨高山おいしいお米プロジェクト(米、3年目) ・ステップ2 吉城蔬菜出荷組合春菊部会(春菊、1年目)										ロジェクト(米、4年目)			Ш						
事業実績	・ステップ2 高山市営農推進協議会(飛騨ねぎ・にんにく、3年目)				1						『会(春菊、2年目) 〖合(山菜、1年目)			Hil	担当課					
	・ステップ3 飛騨高山宮川朝市協同組合(伝統野菜、4年目)						,,,,,,	/(sq+ L) L4	□ /··· /-/-	- 1000 1 3 1/12	11 (12)			- i *	予算要求 ・地域の特	i色ある産地産品づくりσ	推進			
					l i l									Ш	ポイント					
														Hill						
					l i H									┪┆┖						
														1!-						
評価等	・JAや各研究会と協力して実施するとともに、生産量・販売量・加工研究	究等の検証	を行い、事業	業の効果を	l i l						ともに、生産量・販売	量・加工研究等の検	証を行い、事業の効果を	Ė						
	あげるように取り組む必要がある。					2	あげるように	こ取り組むり	必要があ	うる 。				Ш	財務部 ・要求どお	LI				
					l i l										考え方	•				
			☑ 維持・	·改善									☑ 維持·改善	111						
次年度			□ 拡大		lil	次年度							□拡大							
以降の	・事業効果の検証を行うとともに、安全で安心な付加価値の高い産地度	産品づくり	□ 縮小			以降の	事業効果の	の検証を行	うとともに	こ、安全	で安心な付加価値の)高い産地産品づくり	□ 縮小		+ E 木 中					
考え方 (担当課)	につなげていく。		□ 廃止核	検討		考え方 (担当課)	こつなげて	いく。					□ 廃止検討		市長査定 の考え方・財務部者	定のとおり				
DA			☐ H28完										□ H29完了							
			☐ H29完	己了予定	l								□ H30完了予定	_ _						

22.農務課 11 51325

事業シ	一卜(平成29年度予算、平成28年度決)	詳)																	
		全	会計 1 一般:	計			総		1 産	業·労働									
事業名	51330 6次産業化支援事業費	,	款 5 農林	k産業費	ł		合計	1 個別分對					市長名	・海外からの	安価な輸入品に対抗	できるととも	に、国内消費	者にも満足	されるよう
		算	項 1 農業	ŧ			画	施策概要	2 ブラ	ランドカのある安全・	安心な産地産品づくり		11110	な農林畜産物	刃のブランド化を強化し	」ます。			
担当課	農政部 農務課 内線 2223		3 農業	長興費			*	根拠計画	産業振興	(計画									
.事業の	の目的・概要(Plan)													総合計i	画等 主な指標		H27実績	H28実績	H31目標
													農業粗	生産額(畜産含む	、年間)		214.8億円 2	239.7億円	205億円
	・農業者による6次産業化を支援することで付加価値の高い産地産	品づくりを促進	ÉL																
目的	農産物のブランド化、農業者の持続的かつ健全な発展及び地域の			・農業者	が新たに加い	正•流通•販	売に取	組む場合に必	必要な施証	設、機械、器具類の翌	整備費等に対して助成っ	する。							
車業 /	カ実施結果等(Do)											(千円)	4 377	ぱっっと中子	算編成(Actio	-1			(千円)
尹未	/大心和朱守(D0)				H27					H2	18	(TD)	4.4	八乙3十尺了 H29予			計画額		12.000
	歳出事業費		最終	予笪		算 (a)		当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	增減 (b)-(a)		要求額	財務部査定額		在定額	増減 査	
	(職員人件費を除く)		20.11	14,00		97	1		000	4,000	963			3,000	4.000	1,720.	4,000	-6//2 4.	0
				14,00	,,,	31	<u>'</u>	٦,	000	4,000	903	Δ 0	<u> </u>	3,000	4,000		4,000		· ·
	国費()																
持定財源	県費 (6次産業化支援事業費 10/10)	14,00	00	97	1	4,	000	4,000	963	△ 8		3,000	4,000		4,000		0
	その他()																
一般財	酒				0		0		0	0	0	0		0	0		0		0
固票枝番	主な事業内容				<u> </u>	`	_		J	Ü		Ů,	-	査定額		= 2	明		٠
				1400	20	0.7	4	4	000	4.000	000	Λ.0				תה	: 191		
	6次産業化(生産・加工・販売)に対する助成			14,00	JU	97	'	4,	000	4,000	963	Δ 8	!	4,000					
													I -						
													-						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない。	易合があります。									Ĺ		※入札	こ影響するため公開に	適さないなど、記載省略(※)する場合が	があります。		
3.平成2	.7年度事業実績、評価等(Check) H28.8実	施	+		<u>5.平成</u>	28年度	事業	美実績、	平価等	(Check) H2	9.8実施								
													施策		の生産・販売の強化				
													美他/	が 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	ランド戦略の推進に関	月9 る肔東0.)新規・拡允を	快討りるこ	-2
													\vdash						
	・事業者に対し補助金を交付(2件)					. 市 类 孝/		補助金を交付	(a#)										
事業実績	・6次産業化法に基づく事業計画認定者総数 17団体				事業実績	•6次産業	と対し₹	補助並をXii に基づく事業i	(21+ <i>)</i> 計画認定	者総数 19団体			担当	=					
													予算	·6次産業化の	の取組への支援による	5付加価値の	の高い産地産	品づくりの	促進
													ポイン	/					
== /== ***		^ +- 	15 1. 6		== 1= 66	·国·県と	連携し	新たな6次産	業化への)取組みについて支援	した。								
評価等	・6次産業化の取り組みを支援することで、農業者の持続的かつ健	全な発展が凶	られた。		評価等			開拓や品質等					財務						
													査定		精査				
			- 4#±± =± ±									D 44++	77/	<i>,</i> ,					
			☑ 維持·改善									☑ 維持·改善							
次年度			□ 拡大		次年度							□ 拡大							
以降の 考え方	・事業効果の検証を実施するとともに、引き続き推進していく。		□ 堀小		以降の 考え方		果の検	証を実施する	とともに、	. 引き続き推進してい	< 。	□ 極上検討	市長		のとおり				
(担当課)			□ H28完了		(担当課	1						☐ 烷亚铁的 ☐ H29完了	の考え	万					
			☐ H29完了予	定								☐ H30完了予定							
						_													

22.農務課 12 51330

事業シ	ゲート(平成29年度予算、平成28年度決算)																
		会計	1 一般会計					産業・労働									
事業名	51335 農業施設等整備費助成事業費		5 農林水産業	業費			合 個別分野 5				市長公約		の一つである農林畜産業		指し、農材	畜産業の生	を産基盤!
	算	74	1 農業費				画 施策概要 2	ブランドカのある安全・	安心な産地産品づくり		117 12 2473	備に関わる	活動を支援する施策を充	実します。			
担当課	農政部 農務課 内線 2224	目	3 農業振興費	ŧ			根拠計画										
1.事業(の目的・概要(Plan)											総合言	十画等 主な指標		H27実績	H28実績	H31目
											農業粗生產	産額(畜産含	む、年間)	:	214.8億円	239.7億円	205億
	・化学合成農薬や化学肥料の使用削減を図るぎふクリーン農業を基本に、	品質向上や												-			
	生産性の向上、環境保全効果の高い営農方法の導入等により、消費者に 安全・安心で競争力のある売れる農産物づくりを推進する。	信頼される							る機械・施設等の導入 用機械、施設等に直接								
	・新規就農者や意欲ある経営体等の育成・確保を図り、地域農業の持続的	な発展に寄			経営の拡大や改			主风に同じ必安な辰木	州城城、池政寺に 直接。	又版することにより、辰							<u> </u>
	与する。																<u> </u>
																	<u> </u>
2.事業(の実施結果等(Do)									(千円)	4.平成	29年度予	序算編成(Action	1)			(千日
				H2	7			Н	28			H29	予算	実施計	画額		56,00
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算		決算 (a)		当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査	定額	増減 査	定額-(c)
	(1999EXXII SEEPIN V)		83,	,300	64,	,191	58,100	58,100	49,788	△ 14,403	1	83,263	83,200		83,200		25,10
	国費()															
特定財源	県費 (農業総合整備事業費1/4、経営体育成支援事業費3/10 等)	38	.130	38	130	38.100	38.100	34.189	△ 3.941		61,038	60.200		60,200		22,10
1372717111	その他(50,	,100		,100	33,133	33,133	01,100	2 0,011		01,000	00,200		00,200		
		,		470		004	22.222		45.500	4 40 400	-	22.225	22.222				
一般財			45,	,170	26,	,061	20,000	20,000	15,599	△ 10,462	l	22,225	23,000		23,000		3,00
個票枝番	主な事業内容										査	定額		説明	明		
	農業用機械・施設の導入に対する助成		50,	,000	44,	,926	50,000	50,000	38,788	△ 6,138	!	58,000					
	融資を活用した農業用機械の導入に対する助成		6,	,300	5,	,107	8,100	8,100	0	△ 5,107		25,200					
											!						
											!						
											<u> </u>						
											! —						
	ツ T のは ナ 4 東 4 の c + 1 1 1 4 4 0 c + 1 1 5 4 4 5 1 1 東 4 東 1 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1++			-						W 3 +1/= 954	郷土でももの目	1-1×++11 =1+1/010 / 1	ハナフ畑 ヘ 北	+11++		
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があり	りより 。			—— □ ਜ਼ਾਜ਼ੀਨਨ∕ਸ	· etc =i	医米中体 部位	MT (OL IN III	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		※人札に影	音するため公用	に適さないなど、記載省略(%	()9 の場合から	めります。		
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施			1 i 1	5.平成28年	-	事業実績、評価	寺(Check) H2	9.8美肔		施策の	- 農林畜産生	物 の生産・販売 の強化	に関する旅	第の新担	・拡充を検討	ますること
													ブランド戦略の推進に関				
事業実績	・農業総合整備事業(雨よけハウス、予冷庫、高所作業車、コンバイン等) ・経営体育成支援事業(トラクター、スピードスプレーヤー) 4経営体	8団体					整備事業(雨よけハウス 呆・経営強化支援事業(、マニアスプレッダ等)	8団体	1 40 44	٠, , , , ,	. # # 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		** 7		<u> </u>
	WELLER WOOD TO THE TOTAL TO THE TENTE OF THE				125	, ,,,,,							ン農業を基本とした機械 産物づくりの推進	・施設寺の	導人文援に	よる安全・	女心で競
											ポイント	・農業用機材	戒・施設等の導入経費に	対する助成			
				H													
	・事業を推進する際に、作目により採択要件が満たされず、要望に応えられ	いない事例が	あった。		· 車 幸	か見ま	担美エについて 引き結	 	と連携し速やかな事業	宇族を推進している							
評価等	・事業の早期着工について、引き続き事業実施主体、県等と連携し速やか7 要がある。	な事業実施を	を推進していく必	Hil	☆価生 要がる	ある。											
11 Im 45	・成果目標と事業費比率のポイント制で採択されるため、事業採択のために	こは高い成果	!目標の設定と事		• 成果		と事業費比率のポイント が必要であることを農業		事業採択のためには高い 要がある。	い成果目標の設定と事	財務部 査定の	· 積算内容	を結本				
	業費の低減が必要であることを農業者に理解を求める必要がある。			Hil							考え方	187417117	- 10 H				
		\square	維持·改善							☑ 維持·改善							
次年度	・事業の採択要件の緩和について、引き続き県へ要望していく。		拡大	Hil	次任府 . 事業	· の!!!!	R要件の緩和について、 である。	리き結ぎ目へ西切り	11/	□拡大							
以降の	・事業実施主体や県等と連携し、速やかな事業の実施を推進していく。		縮小		以降の・事業	実施主	主体や県等と連携し、速	やかな事業の実施を推	進していく。	□ 縮小	士巨木宀						
考え方 (担当課)	・市のホームページ等で事業内容のPRや要望量を把握し、新規就農支援者 や各種会議・会合等で事業推進に努める。		廃止検討	Hil			ムページ等で事業内容の ・会合等で事業推進に		、新規就農支援者相談	L SCEINII	市長査定の考え方		定のとおり				
			H28完了					- 		□ H29完了							
			H29完了予定	1 1 1						□ H30完了予定							

22.農務課 13 51335

事業シ	√─ト(平成29年度予算、平成28年度決算	:)																	
		会計	1 一般会計					総よ	基本分野	1 産	業・労働								
事業名	51336 集出荷施設等整備費助成事業費	予算	5 農林水産	業費					個別分野					市長公約	·基幹;	産業の一つである農林畜産業 関わる活動を支援する施策を	美の振興を目指し、農林	木畜産業の生	E産基盤!
Im .u. m	that to that a	- 項	1 農業費						施策概要		気ある農業生産地で	5(1)		_	1佣1~陕	目わる活動を文援する他束を	忙美します。		
担当課	農政部 農務課 内線 2222	目	3 農業振興	賀				根拟	処計画	産業振	興計画 画信興								
.事業(の目的・概要(Plan)														¥	総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目
														農業粗生	産額(畜	産含む、年間)	214.8億円	239.7億円	205億日
	・増加する丹生川地区のトマト出荷量に対応し、収穫時の選別作業の産者の負担軽減を図り、作付面積の拡大及び栽培管理の徹底による品質向上を目指す。		カー 郷亜 一・万	生川け		景(既有	施設)の	の隣接地	めに新選集	見場を建設	とし、新たに選果機を	導入するとともに、既存	施設を改修し、一体的						
2.事業(の実施結果等(Do)												(千円)	4.平成	29年	度予算編成(Action	n)		(f F
	# 11 *# ##				H27							28				H29予算	実施計画額		
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	[決	央算 (a)	当:	初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査	定額-(c)
									712	2,800	712,800	656,363	656,363						
	国費()																
持定財源	県費 (産地競争力強化対策事業費1/2)		1				648	3,000	648,000	596,694	596,694						
	その他()									· · · · · ·		!					
一般財			·						6/	.800	64,800	59,669	59,669	<u>i</u>					
固票枝番	主な事業内容								- 07	,,000	04,000	33,003	33,003	古	定額		説明		
	トマト集出荷施設の整備に対する助成								712	2,800	712,800	656,363	656,363		AL DR		0,631		
• '	「「木山門心成く」正明に入り、								/ 12	.,000	712,000	030,000	000,000	!					
														1					
														!					
														i					
														i					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	かあります。						<u> </u>						※入札に影	響するため	 め公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。		
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施	<u> </u>	\downarrow	- 1	5.平成	₹28:	年度	事業3	実績、	評価等	(Check) H2	9.8実施	\						
			•	Τi							•	F 31.	,	施策の					
				П										実施方針					
				Τi										<u> </u>					
+* +*				1	***	. BI					面積3, 803. 10㎡ :延床面積3350. :	75m²							
事業実績					事業実績	リト	マト選果	!機 コン		: 2条3系	《列、予冷設備一式			担当課					
				1		Ι.	(10)///	X J L BR (1)	1	70.4				予算要求 ポイント					
				П															
				1!										i					
				Ш								流通の合理化等、地域							
評価等				Н	評価等				策を総合的 −ト不足の			による農家の労力軽減	域、栽培管理の徹底に	財務部					
				H							•			査定の考え方					
		l r	□ 維持·改善	┨¦									□ 維持·改善	1					
			」 旅大	\Box	., .								□ 拡大						
次年度 以降の			温 縮小	Ш	次年度 以降の		- 本口 仕	나메/도#	出出ない	ひわぎの	カズル亜にウドイウ	* + Z	□ 縮小						
考え方 (担当課)		[ア 廃止検討	H	考え方 (担当課)	=	连团体.	い判除税	成渕寺と	の励譲の	中で必要に応じて実施	ଅଟେ ବି	□ 廃止検討	市長査定の考え方					
コニコ計)			☐ H28完了	Ш	(担当訴								□ H29完了	1					
		[】 H29完了予定	11									□ H30完了予定						

22.農務課 14 51336

主要事業個票(平成29年度予算、平成28年度決算)

I	事業名	51336 集出荷施設等整備費助成事業費		☑ H28新規	☐ H29新規		会計	1	一般会計	担当課	農政部 農務課
ı	尹木石	51000 宋山河池以守正师夏功从李未晃	区分	□ H28拡充	□ H29拡充	予算	款	5	農林水産業費	担当杯	废以即 废伤杯
I	枝番·内容	1 産地競争力強化対策事業	四刀	□ その他重要事業), 21	項	1	農業費	内線	2222
ı	汉田 771日	性心就子が風心が水学来					目	3	農業振興費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

マネツロ!	y-fw,安(Fiail)		
目的	・増加する丹生川地区のトマト出荷量に対応し、収穫時の選別作業の省力化による生産者の負担 軽減を図り、作付面積の拡大及び栽培管理の徹底による出荷量の増加や品質向上を目指す。	概要	・丹生川トマト選果場(既存施設)の隣接地に新選果場を建設し、新たに選果機を導入するとともに、既存施設を改修し、一体的に利用する。

[参考] H2]	7決算(Do-	Check)	H28.8時点	(千円)
	当初			
予算額	繰越			
17 异创	補正等			
	最終			
決算	算額			
対前年度増	減額(決算)			

[参考] H28	3当初予算(Action)	H28.3時点	(千円)
予算額	当初			712,800
主な経費	JAひだ丹生川ト	マト選果場の)整備に対する助原	艾
対前年度増減	額(当初予算)			712,800

※ 3 封に影響するための間に済	さないなど	記載少w(X	ど) オス提る	ホロ

对則年度增	減額(決算)			
	事業	実績、評価等		
			_	6# 1± =1 =4
				維持·改善
次年度以降				
の考え方				縮小
(担当課)				
				H29完了予定

71.7 11043	音・のためないに応じなり、なこ、心状目に(小/)の物口のグ
	事業内容、スケジュール
[事業内容]	
・事業名 備)	産地競争力強化対策事業(JAひだ丹生川トマト選果場整
·事業主体 ·建設場 ·施設概要	飛騨農業協同組合 高山市丹生川町坊方地内 新設建物 鉄骨造と階建て 延床面積3,703,10㎡ 既存建物 鉄骨造一部2階建て 延床面積3350,75㎡ 選果機 2条1系列合流型選果機4台、予冷設備一式
	- 平成28年度(1力年)
	平成29年度稼働

 H 28決算 (I	Do-Check)	H29.8時点	(千円)
	当初		712,800
予算額	繰越		0
了异似	補正等		0
	最終		712,800
決算	草額		656,363
対前年度増	減額(決算)		656,363

	事業実績、評価等	
[事業実績]		
·事業名 ·事業主体 ·建設場所 ·施設概要	産地パワーアップ事業(JAひだ丹 飛騨農業協同組合 高山市丹生川町坊方地内 新設建物 鉄骨造2階建て 延床 既存建物改修 鉄骨造一部2階建 選果機 コンペア方式 2条3系列 予冷設備一式	面積3,803.10㎡
等、地域にお	高品質・高付加価値化、低コスト化 ける生産から流通・消費までの対策 地域のトマト産地の更なる飛躍が期行 アの労力軽減、栽培管理の徹底によ 。	を総合的に支援したこ きできる(ABC品同時選
	・今後の施設等の整備については、生産団体や関係機関等と	
No for the 111	は、生産団体や関係機関等と の協議の中で必要に応じて実	□拡大
次年度以降 の考え方	は、生産団体や関係機関等と の協議の中で必要に応じて実 施する。	拡大 縮小
	は、生産団体や関係機関等と の協議の中で必要に応じて実 施する。	□拡大

H29当初予	算(Action)H29.3時点	(千円)
予算額	当初		
主な経費			
対前年度増減	額(当初予算)		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

	事業内容、スケジュール	
[事業内容]		
7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7		
[スケジュール]		

22_農務課_15 51336-1

事業シ	·一ト(平成29年度予算、平成	28年度決算)																
			会計	1 一般会計				総基本分野合	1 産									
事業名	51340 地産地消推進事業費	予	款	5 農林水産業	養			計劃別分野	5 農				市長公	約・地産地消が体	験できる拠点空間(施設)の整備に努る)ます。	
40 W = 00	th vi. 40 th 7/- 20	算	項	1 農業費	.					反路の拡大と流通の効 (m.t.) T	率化 ————————————————————————————————————							
担当課		内線 2223	目	3 農業振興費	Ĭ			根拠計画産	美振	興計画								
1.事業	の目的・概要(Plan)														等 主な指標	H27実		
目的	・地域で生産されたものを地域で消費する。 ・生産者の顔がみえ、新鮮で安全・安心な農畜産	物が供給される。						報発信や消費者と生 において、地域農産		の連携を強化し、地産 利用促進を行う。	地消を推進する。		農業粗	生産額(畜産含む、生	年間)	214.8(i	5円 239.7億	5円 205億円
	・地域の農業と関連産業の活性化を図る。			107	100-1	11311247	至时生形以	CICODO CO PERMIDEIA	_ 133 03 .	4971 KLZE (1) 26								
2.事業	の実施結果等(Do)			ı								(千円)	<u>4.平</u>	成29年度予算				(千円)
	歳出事業費			日仙子生	H:	27	F ()	W+n = ## / \		H2		1 ** >+ (1) ()		H29予算		実施計画額	144.74	3,000
	(職員人件費を除く)			最終予算	F00	決算		当初予算 (c)	00	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)			財務部査定額	市長査定額		
	国費(`	3,	,509		2,835	3,0	00	3,000	2,103	△ 732	-	5,540	11,400	11,4	00	8,400
特定財源	開覧 (学校給食地産地消事業費 1/3)	1	.000		794	1.0	00	1.000	807	13		1.000	1.000	1.0	00	0
117277111	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	•	,000			1,0		1,000		10		0	2,600	2,6		2,600
一般則				2	,509		2,041	2,0	00	2,000	1,296	△ 745		4,540	7,800	7,8	00	5,800
個票枝番	主な事業内容	主な事業内容品関連事業者とのマッチングイベント等												査定額		説明		
	生産者と食品関連事業者とのマッチングイベント	等		1,	,509		1,246	1,0	00	1,000	489	△ 757		1,000				
	学校給食での県内産米、小麦粉、野菜等の利用						1,589	2,0	00	2,000	1,614	25		4,400				
	「まるごと飛騨の日」の開催(学校給食での地元食	限内産米、小麦粉、野菜等の利用促進 D日」の開催(学校給食での地元食材を使った特別献立の提												6,000				
														-				
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出る。	事業費に一致しない場合がありる	ます。										※入札に	 に影響するため公開に適さ	さないなど、記載省略()	※)する場合があります	•	
3.平成	27年度事業実績、評価等(Check	k)H28.8実施		\downarrow	1	5.平成2	.8年度₹	事業実績、評	価等	等(Check) H2	9.8実施	\downarrow						
	・地産地消推進会議を開催し、推進事業等につい ・各種事業の実施(100年ごはん上映会(1回)、料 における啓発事業の実施、手作り弁当の募集、見	ヽて協議 理教室の開催(3回)、飛騨					・地産地消費・各種事業の	推進会議を4回開催 の実施(料理教室の	し、推 開催(生進事業等について協 (3回)、飛騨をまるごと 1回)、フェイスブック・ヒ	義 食べんかな月間におい		施策 実施力		ンド戦略の推進に関	する施策の新規・拮	(充を検討す	-ること
事業実績	の情報発信)) - 学校給食地産地消推進事業補助金を活用した、 積極的な活用の推進 - 学校給食における地元農産物の利用量 142トン - 学校給食使用食材に占める飛騨産食材の比率 ・公設地方即売市場の取扱量に占める飛騨産食 ・ 地産地消の取組を発信する店舗・団体数 250件	ける地元産	- 県産農産物の		事業実績	・学校給食り 積極的な活・学校給食(・学校給食(・公設地方針	地産地消推進事業ネ 活用の推進 における地元農産物 使用食材に占めるデ	補助金 の利所 後解産! こ占め	会を活用した、小中学校 用量 139トン 会材の比率 64% うる飛騨産食材の比率	の学校給食におけるは		担当予算要ポイン	求 ・市民参画による	る地産地消の推進さ	⇒学校給食における	地元農産物	の利用促進	
評価等	つながっている。	農産物等の認知度向上及び利用促進に向けた取組を、地産地消推が					つながってし	いる。 物等の認知度向上2		・消費者等がコミュニケ			財務査定考え	の・学校給食の地	産地消の推進に要	する経費を計上		
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・地域特産物の利用拡大を推進していく中で、地域 る事業を展開する。	域の農業と関連産業を結び	付け □ □	維持·改善 拡大 縮小 廃止検討 H28完了 H29完了予定			・地域特産 ^料 る事業を展		進してい	いく中で、地域の農業。	岩連産業を結び付け	✓ 維持·改善/ 拡大/ 縮小/ 廃止検討/ H29完了/ H30完了予定	市長者の考え		とおり			

22 農務課 16 51340

争耒ン	一片(平成29年度予算、平成28年度决算	L)																
			会計	1 一般会計				<u> </u>	産業·労働									
事業名	51350 環境保全型農業推進事業費	予 _	款	5 農林水産	業費			合計 個別分野 5				市長公約	・海外からの	の安価な輸入品に対抗で	きるとともに、	国内消費者	まにも満足 しょうしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいかい かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいかん かいか	されるよう
		算	項	1 農業費				_	活気ある農業生産地づ	ζ ij			な農林畜産	物のブランド化を強化し	ます。			
担当課	農政部 農務課 内線 2225		目	3 農業振興	費			根拠計画										
1.事業(D目的・概要(Plan)												総合訂	計画等 主な指標	H	27実績 H	128実績	H31目標
												農業粗生	産額(畜産含	む、年間)	214	4.8億円 23	39.7億円	205億円
目的	・廃ビニールの適正処理、農薬の安全使用の徹底など地域環境の保: ・地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い、国が定める特定								協調し、廃ビニールの処理 効果の高い営農活動を行									
	援し、環境保全型農業を推進する。	上の日成れ	13067	j	, , , C I		X 10 (0) 11	(189 4 1 4 1	州本の同○日辰石助 と日	JAC BARRESTO COLI	並による直及人族と口							
2.事業(D実施結果等(Do)										(千円)	4.平成	29年度	予算編成(Action	n)			(千円)
					H	27			H2	18				予算	実施計画	額		2,200
	歳出事業費 (職員人件費を除く)			最終予算		決算 (a))	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定	額	増減 査定	ピ額-(c)
	(概員八丁貝で称く)			2	2,200		1,397	2,50	2,500	1,704	307		2,800	2,700		2,700		200
	国費()															
特定財源	県費 (環境保全型農業支援事業費3/4		,		900		540	1,35	1,350	807	267		1.574	1,500		1.500		150
14 YE WI WY			,		300		340	1,33	1,330	807	207	l	1,574	1,300		1,500		130
	その他()															
一般財	原			-	,300		857	1,15	1,150	897	40		1,226	1,200		1,200		50
個票枝番	主な事業内容											查	定額		説明			
	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する	助成			,200		720	1,80	1,800	1,091	371		700					
	使用済農業用資材の適正処理に対する助成				,000		677	70	700	613	△ 64		2,000					
											+							
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	合があります	f 。				I					※入札に影	響するため公開	に適さないなど、記載省略()	(4)する場合があり	ます。		
3.平成2	7年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施	衐		\downarrow	1	5.平成28年	年度事	工業実績、評 値	等(Check) H2	9.8実施	\							
	1 10 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10				Τi			-11	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		·	施策の	-農林畜産物	物 の生産・販売 の強化	に関する施策	の新規・拡	充を検討	すること
					H							実施方針		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, 5
					Ιi													
	・関係機関と連携し、農業用廃ビニールの回収と処理にかかる費用を	き助成した	こ。(フレコン	パック677袋)	H	•関	係機関と	:連携し、農業用廃ビ	ニールの回収と処理にかれ	かる費用を助成した。(フレコンパック613袋)							
	・国・県と連携し、環境保全型農業に取組む経営体に対して交付金に。 積900a)	よる直接	支援を行っ	た。(交付金面	Ιi		・県と連: ,685a)	携し、環境保全型農業	美に取組む経営体に対して	交付金による直接支持	援を行った。(交付金面	担当課						
	19300a)				H	1只 1	,00Ja)					予算要求	·環境保全	型の営農活動の促進				
					Ιi							ポイント						
					۱ì													
					H								_					
評価等	・農業団体や関係機関とともに、農業用廃ビニールの適正処理や環境	境保全型	農業への耳	収組を支援した	H				農業用廃ビニールの適正		業への取組を支援した							
中山川土	ことにより、地球温暖化防止や生物多様性保全を図ることができた。					ح تسب	により、	地球温暖化防止や生	物多様性保全を図ることだ	ができた。		財務部	4年中中中	+ /± *				
					H							査定の考え方	・積算内容	で相重				
			[Z]	維持・改善	-						☑ 維持·改善							
											□拡大							
次年度 以降の	・環境に配慮した営農活動を推進する。							した営農活動を推進		1000++1=1+1°	□ 縮小							
考え方	・環境保全型農業に取り組む農業者の事例をPRし、さらなる推進を図	図る。		廃止検討	1	考え方		望農業に取り組む農業 推進を図る。	(者の環境への効果、活動	JIUPRを文援しなが	□ 廃止検討	市長査定の考え方		定のとおり				
(担当課)				H28完了		(担当課) ら、					☐ H29完了	V/5/2/						
				H29完了予定	1:						□ H30完了予定							

22.農務課 17 51350

事業シ	·一ト(平成29年度予算、平成28年度決算)																
		会計	1 一般会計			総		産業・労働									
事業名	51355 中山間地域等直接支払事業費	款	5 農林水産	業費		合計	個別分對 5 点				市長公約	·基幹産業の	D-つである農林畜産業	の振興を目	指し、農材	畜産業の生	産基盤
	算	項	1 農業費			画		農山村集落機能の維持	∳・強化		1,224,3	備に関わる	活動を支援する施策を発	[実します。			
担当課	農政部 農務課 内線 2229	目	3 農業振興	費		木	根拠計画										
1.事業(の目的・概要(Plan)											総合計	十画等 主な指標		H27実績	H28実績	H31目
											農業粗生產	産額(畜産含む	む)(年間)		214.8億円	239.7億円	205億日
											担い手への	の農地集積率			40.1%	40.9%	50%
目的	・耕作放棄地の増加等により水源かん養機能、洪水防止機能等の多面的機 が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業		概要・中に	山間地域	域等の農業生産条件	上が不利	な地域において、54	¥以上農業を続けること	とを約束した農業者等に	こ対して支援する。							
	持を通じて、多面的機能を確保する。										-						
2.事業(の実施結果等(Do)									(千円)	4.平成		5算編成(Action				(千月
	歳出事業費		B 45 3 45	H			14 to 37 ft ()	H2		144-46 (1) (1)		H29 ⁻³		実施計		124.545.44	183,00
	(職員人件費を除く)		最終予算		決算 (a)		当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査		増減 査	
1			182	,340	173,23	33	175,300	175,300	173,364	131		174,152	174,200		174,200		△ 1,10
	国費()									!						
特定財源	県費 (中山間地域等直接支払事業費 2/3、3/4、10/10)	137	,350	129,54	15	131,100	131,100	129,470	△ 75		130,107	130,150		130,150		△ 9
	その他()															
一般財	源		44	,990	43,68	88	44,200	44,200	43,894	206	i	44,045	44,050		44,050		Δ 15
個票枝番	主な事業内容										査	定額		説明	明		
	中山間地域等直接支払事業に対する助成		180	,651	172,53	3	174,600	174,600	173,109	576	i	174,000					
											i 						
						-					<u> </u>						
						-					i						
											i						
											il						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があり	ます。				•	"				※入札に影	響するため公開	に適さないなど、記載省略(※	()する場合が	あります。		
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施		<u> </u>	, i ,	5.平成28年度	集事業	<u> 実績、評価等</u>	手(Check) H2	9.8実施	<u> </u>							
											施策の 実施方針	・農林畜産物	物の生産・販売の強化に	関する施策	の新規・拡	充を検討す	ること
				Ш													
					- 協定締	結集液数	数 93集落										
事業実績	協定締結集落数 92集落事業参加面積 1,260ha			Ш			1, 263ha										
				Ш							担当課	· 条件不利性	也での営農活動の維持、	農地の生産	を其般の確	(早	
				Hil							ポイント	*1111111	已 () 日 版 旧 到 () 种 门 (及吃了工店	E SES IIII VO HE		
				Ш													
											l						
評価等	・農業生産活動の重要性について広報等で幅広く周知し、組織拡大に向ける	去編去車当	#を宇体! でいく	Hil	・当該事 評価等 農業者が	業の採掘	択条件に「5年以上島 ない場合がある	皇業を続けること」という	5条件があるため、農業	の継続を検討している							
計画主	・辰米工性心到の重要はについて仏教寺で細仏へ向知し、植穂仏人に刊ける	1さ祝さ争え	そを天心してい、		計画等 辰未有が	19000	んない物口がめる。				財務部	. 往答由家女	:				
				H							査定の考え方	・ 積算内容を	1.17月上				
		\square	維持·改善	1 1						☑ 維持・改善							
次年度			拡大	Hil	次年度					□ 拡大							
以降の	・新規に取り組みを希望する集落の掘り起こしを行い、耕作放棄地の解消や		縮小		以降の・新規に		みを希望する集落の	掘り起しを行い、耕作加	枚棄地の解消や予防を	□ 縮小	市長査定						
考え方 (担当課)	を促進していく。		廃止検討	Hil	考え方 促進して (担当課)	いく。				□ 廃止検討	の考え方		定のとおり				
			H28完了							☐ H29完了							
			H29完了予定	ı i l						□ H30完了予定							

22.農務課 18 51355

争耒ン	一下(平成29年度予算、平成28年度决算	L)																	
			会計	1 一般会語				総基本分野合		産業・労働									
事業名	51360 耕作放棄地対策事業費	予	款	5 農林水道				計					市長公約						
1m vv =m	# T- 40 # 77-20	算	項	1 農業費				画施策概要	1 7	舌気のある農業再産地づく	(1)								
担当課	農政部 農務課 内線 2227		目	3 農業振り	興賀			根拠計画											ᆜ
1.事業(の目的・概要(Plan)													総合計	十画等 主な指標	H2	実績 H28	実績 H31目	標
													担い手への	の農地集積率	<u> </u>	40	1% 40.9	50%	6
	・耕作放棄地を解消することで、農産物の生産供給のほか、農地によ	る洪水	防止など																
目的	多面的機能を向上させ、農村環境や自然環境を維持する。			概要・非	耕作放到	₹地を解消し	ようとする団	体や認定農業者	による、	農地を再生するための活	動に対して支援する	,							
	・地域の団体や企業が、耕作放棄地対策に取り組むことで、地域の振連携体制を強化する。	返興と任	氏同士の										-						-
2.事業(の実施結果等(Do)											(千円)	4.平成	29年度予	P算編成(Actio			(千	
	华山市举趣					127				H28				H29-		実施計画額		10,0	
	歳出事業費 (職員人件費を除く)			最終予	算	決算	章 (a)	当初予算(d	c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額	増	減 査定額-(c	
					10,000)	2,975	10	,000	10,000	612	△ 2,363		5,000	5,000		,000	△ 5,0	100
	国費 ()										!						
特定財源	県費 ()																
	その他()										!						
én B-			,		10.000		2.975	10	000	10.000	612	△ 2,363	-	5.000	5 000		.000	Δ 5,0	100
一般財 個票枝番	主な事業内容				10,000	1	2,975	10	,000	10,000	012	△ 2,303	*		5,000	説明	,000	△ 5,0	100
	=-,				10.000		0.075	10	000	10,000	610	A 0.262	<u>I</u>	定額		武明			
	耕作放棄地再生利用事業に対する助成				10,000	'	2,975	10	,000	10,000	612	△ 2,363		5,000					
													!						
													<u> </u>						\dashv
													!						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	Δ+8'±11=	±±										W 3 +1 /- RKI	がするため八四	に適さないなど、記載省略(ツ)ナ エ担 合がも!!!	+		
	※ ト Rid = な事業内各を被告出たため、6の人 ii か脈出事業員に一気じない場合 27年度事業実績、評価等 (Check) H28.8実施		<i>5</i> 9 °					F 坐 中 往 =	is 150 4	等(Check) H29.	0 	1	※八和に影響	当 り るため 公用	に過ぎないなど、記載有暇(ペ/ する場合かめり	. 9 .		—
3. 平	27年及爭未失賴、許圖寺(Uneck) Fize.8天脈	e.			⊣ :	5.平成.	<u>20年及</u> 5	P未天限、	开川川マ	F(Uneck) HZ9.	0天旭		施策の	m 11 1		BB 1 = 15-55			
													実施方針	- 農林 善	物の生産・販売の強化に	関する施策の業	規・拡充を核	討すること	
事業実績	・高山地域の 6団体などが 0.9haの再生事業を実施し、露地野菜な	どを作り	付した。			事業実績	奥飛騨温	泉郷地域の1団体	が0. 3	haの再生事業を実施、ソ	バを作付した。		10 W = 00						
													担当課予算要求	・荒廃農地を	を再生・営農開始する団	体や企業等への	支援		
													ポイント						
					- †														
	·事業費ベースで、H24 44%、H25 49%、H26 12%、H27 30 %と低調であ	ることか	いら、事業推	進のためのPI	R					H26 12%、H27 30 %となっ:	たが、H28は 6 %と低	氐調であることから、農							
評価等	が必要である。 ・中山間地域等直接支払などの活用により農地保全および、農地所す	有者への	の意識改革(農地有効利用	目)	評価等		説明をより進める 希望農家から担い		いめる。 ₹への農地集積を図るため	、農地利用最適化	の推進に向けた活動を							
計圖寺	などを行う必要がある。 ・耕作放棄地全体調査結果 H20:174ha、⇒H27:109haとなっている。	宝質部	2消而積付 1	103haであるか	,	計画社		める必要がある。 h全体調査結果		74ha、⇒H28:105haと緩や	かに減少している	宝質解消而藉け	財務部 査定の	・亜米じかけ	1				
	新規の発生面積は 7haである。	。天兵亦	円円 四刊 別の	oona Cayon				。 規発生面積は 7			- 13 1 C 10 10 C 0 11 0 c	大兵所//面頂16	者え方	・要求どおり	,				
			N	維持·改善	-							□ 維持·改善							
	・農業委員や改良組合長を通じ、積極的に支援制度の活用をPRL、S	実践に終	+ + + +	拡大		15 to 15	 ・地域農業	者と伴に農地利用	月の最適	近化の推進に向けた活動を	行うため、「人・農	I —							
	付ける。 ・8月~11月の農地パトロールを踏まえ、耕作放棄地所有者に意向記	調査を行		縮小		次年度 以降の	地プラン」の	見直しに向けた	話し合し	いの場へ積極的な参加を促	ます。	☑ 縮小							
考え方	農地の貸し借りを促進させる。 ・「人・農地プラン」の話し合いの場で解消事例などを提示し、地域全体			廃止検討		考え方	担い手農家	、農業法人、地緣	縁団体へ	推進委員と農業委員が連 、制度活用に向けた相談活		□ 廃止検討	市長査定の考え方	•財務部査5	定のとおり				
()旦コ味)	・・・	かりが末		H28完了		(担当課)	棄地解消・	方止に結び付ける	5.			☐ H29完了							
				H29完了予定	4							□ H30完了予定							

22.農務課 19 51360

事業シ	∕一ト(平成29年度予算、平成28年度決算))															
		会	1 一般会記	†			総基本分野	産業·労働									
事業名	54100 農業土木施設整備事業費	予					合				市長公約		の一つである農林畜産業		し、農林	*畜産業の生	E産基盤
Imm	Mary 42 M 76-70	算 項						活気ある農業生産地	づくり 			備に関わる	活動を支援する施策を残	た実します。			
担当課	農政部 農務課 内線 2229	E	1 農業土	卜総務 隻	ì ·		根拠計画										
1.事業(の目的•概要(Plan)											総合言	計画等 主な指標	H	27実績	H28実績	H31目
											農業粗生產	産額(畜産含	む)(年間)	21	4.8億円	239.7億円	205億日
目的	・用排水路等の農業用施設の機能維持、機能回復または機能改良 ・豪雨時においてダムによる洪水調整を行い、下流域における市民の9	安全を確保し	、生 概要 • 月	用排水路	等の農業用施	設の修繕	•改修整備、防災ダ	ムの保守点検									
	活施設、農業生産施設、農作物等の被害を防止する。																—
											,						
2.事業(の実施結果等(Do)									(千円)	4.平成		P算編成(Action			T	(1 F
	歳出事業費		日始マ		127	()	火力マケ /)		128	## /# (1 \ / \	TT.	H29		実施計画		松 港 木	39,20
	(職員人件費を除く)		最終予:		決算(当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	增減 (b)-(a)	安	求額	財務部査定額	市長査定			定額-(c)
			<u> </u>	70,284		69,627	55,11	6 115,712	115,256	45,629	1	42,612	39,527	3	9,527		15,58
	国費()														
特定財源	県費 (県移譲事務交付金)	30		50	3	0 30	30	△ 20	i	30	30		30		
	その他(農業用施設改良事業費(市単事業)17.5/100、35/100等)	5,600		7,112	4,19	1 9,821	7,411	299	1	4,071	3,903		3,903		△ 28
一般財			6	64,654		62,465	50,89	5 105,861	107,815	45,350		38,511	35,594	3	5,594		15,30
個票枝番	主な事業内容										査	定額		説明			
	防災ダムの維持管理			1,018		767	1,01	5 1,015	790	23	i	1,015					
	農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり)		3	30,000		31,231	15,00	0 15,000	36,465	5,234		15,000					
	農業用施設工事 (排水路等工事 分担金なし)		2	29,174		27,507	31,00	0 89,000	67,480	39,973		15,000					
	農業用施設修繕用原材料支給			5.000		4.851	5.00	,				5.000					
				0,000		1,001	0,00	0,000	1,000			0,000					
											-						
											!						
					<u> </u>												
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合										※入札に影	響するため公開	に適さないなど、記載省略(※	※)する場合があり	ります。		
3.平成2	<u> 27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施</u>			¬ (:	5.平成28	4年度	事業実績、評(西等(Check) H	29.8実施		施策の						
				1!							実施方針	·農林畜産物	物の生産・販売の強化に	:関する施策の	新規·拡	充を検討す	ること
				Пi													
	・宮川、久々野防災ダム 施設維持管理(支障木除去、法面草刈り) ・農業用施設工事 (用水路等工事 分担金あり) 36件			-11		宮川、久々 農業用施調		維持管理(支障木除去、 等工事 分担金あり)			Ì						
事業実績	・農業用施設修繕工事 (排水路等工事 分担金なし) 34件			11	事業実績・	農業用施訂	设修繕工事 (排水路	等工事 分担金なし)			i Imau m						
	・広域営農団地農道清掃・農業用施設修繕用原材料の支給						団地農道清掃 设修繕用原材料の支	給			担当課予算要求		用施設の改修等による		全や長寿	导命化	
				11							ポイント	・施設の週』	正な維持管理による豪雨	災害の防止			
											1						
				- ¦													
	・防災ダムついては適正に施設点検・維持管理を行った。					防災ダムつ	ついては適正に施設	点検・維持管理を行った。									
評価等	・市内の用排水路等の農業用施設は、標準的な耐用年数を経過した施 に係るニーズは高く、毎年度、多くの要望が寄せられている。	施設が多く、原	農業用施設の修繕等	¥	評価等が	地域から <i>0</i> -)農業用施設修繕の	要望に対し、老朽化した	を設の修繕を行い長寿 を	命化を図ることができ	1						
11 Im 47	に派る一、八は同、、母子及、ダベの安主が、司とうれたでいる。							設は、標準的な耐用年数		、農業用施設の修繕等	財務部 査定の	積算内容					
				Ηi		-1糸るニー)	人は高くなっているた	め、町内等と調整が必要	0		考え方	・用水路・排	水路工事改修について	は、実施計画と	ごおり実力	施	
			☑ 維持·改善	11						☑ 維持·改善							
次年度	・防災ダムはこれまでどおり施設点検や維持管理を行う。		□ 拡大	Πi	次年度 ・	防災ダムト	まこれまでどおり体部	:点検や維持管理を行う。		□ 拡大							
以降の	・農業用施設の維持管理において必要な事業であるため、次年度も引 業を継続する。	き続き事	□ 縮小		以降の・	防災ダム旅	施設の適正な状態を	呆つために、定期的な保		_	市長査定						
考え方 (担当課)	・農業用施設の維持、長寿命化を図るために、町内会、改良組合、農業	業用施設管	□ 廃止検討	Ιi				農業用施設の維持、長男 理団体等との更なる調整			の考え方	・財務部査5	定のとおり				
	理団体等との更なる調整が必要である。		□ H28完了	H						□ H29完了							

22 農務課 20 54100

争耒ン	一下(平成29年度予算、平成28年度决算)															
		会計	1 一般	会計			総 基本分野 1	産業・労働								
事業名		予款					āΤ	農業			市長公約	·基幹産業の	の一つである農林畜産業	美の振興を目指し、農林	畜産業の生	産基盤整
		算 項						農山村集落機能の維持・	強化			備に関わる	活動を支援する施策をす	た美します 。		
担当課	農政部 農務課 内線 2229	目	1 農業	土木総務	費		根拠計画									
1.事業(の目的・概要(Plan)											総合計	計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
											農業粗生產	産額(畜産含	む)(年間)	214.8億円	239.7億円	205億円
目的	・脆弱化しつつある地域共同活動を再構築し、農業用施設の保全(長寿		機要			市との間で	締結した「農地・農業用	水等の資源や環境の保全	と質的向上に対する	協定」に基づく取り組み						
п.,	ともに、農村環境の保全など、地域農業の発展と農山村地域の活性化を	を図る。	100,54	に対し支	援する。											
2.事業(の実施結果等(Do)									(千円)	4.平成	29年度予	5算編成(Action	1)		(千円)
					H27			H28				H29		実施計画額		243,000
	歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終	予算	決算	草 (a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)	要	求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査	定額-(c)
	(499 24 XII 25 C MX V/			242,09	5	242,094	247,420	246,494	246,493	4,399		225,927	225,920	225,920	Δ	21,500
	国費 ()													
特定財源	県費 (農村環境多面的機能向上事業費 3/4、10/10)	181.60	1	181,600	185,595	185,595	184.920	3,320		169.479	169,470	169,470	^	16,125
14 70 701 1115			,	101,00	'	101,000	100,000	100,000	104,320	0,020		103,473	103,470	100,470		10,120
	その他()													
一般財	源			60,494	4	60,494	61,825	60,899	61,573	1,079		56,448	56,450	56,450	,	△ 5,375
個票枝番	主な事業内容										查	定額		説明		
	多面的機能支払事業補助金			241,97	5	241,975	247,300	246,374	246,374	4,399		225,800				
											l ——					
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合が	があります 。						L.			※入札に影響	響するため公開	に適さないなど、記載省略()	※)する場合があります。		
3.平成2	7年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施		₩	:	5.平成	28年度	事業実績、評価	等(Check) H29	.8実施	<u></u>						
											施策の	・農林畜産物	勿の生産・販売の強化に	関する施策の新規・拡	充を検討す	ること
				l i							実施方針					
				Ιİ												
	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対し	て支援		Hi		・農業の多	面的機能の維持・登揮	のための地域活動や営農	ま動に対して支援							
事業実績	·70組織 3, 018ha			Ιİ	事業実績		3, 154ha	のためののため、日成が			担当課					
				Hi							予算要求	・農地等が有	与する多面的機能の維持	・・発揮のための活動!	こ必要な経費	きを計上
				Ιİ							ポイント					
				Hi												
				⊢i i												
評価等	・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るため	めに必要な	事業であり、引き	続き	評価等	新たな取れ	組活動等の拡大を図る	ため、地域に対し啓発を行	う必要がある。							
	事業を実施していく。				a	1,711 - 0.11	2,2,3,4,2,7,7,2,2,0		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		財務部 査定の	・要求どおり	ı			
				Hi							考え方	2-,1-009				
			☑ 維持·改善							☑ 維持·改善						
次任由			□拡大	H	次年度					□拡大						
	・各地域の農地・農業用水等の資源や環境の保全と質的向上を図るため	めに必要	□ 縮小		次年度 以降の			源や環境の保全と質的向。	上を図るために必要	□ 縮小	+F*					
考え方 (担当課)	な事業であり、引き続き事業を実施していく。		□ 廃止検討		考え方 (担当課)	な事業であ	り、引き続き事業を実施	をしていく。		□ 廃止検討	市長査定の考え方	·財務部查別	色のとおり			
(J= = DA/				, [:						☐ H29完了						
			☐ H29完了予	定						□ H30完了予定						

22.農務課 21 54120

事業シ	ノート(平成29年度予算、平成	戊28年度決算	I)															
			会	1 一般会計				総基本分野	1	産業·労働								
事業名	54200 県営土地改良事業費	予款					合制個別分野		農業			市長公			美の振興を目指し、農	林畜産業の	生産基盤整	
			算 項					画施策概要	1	活気ある農業生産地で	< 9			備に関わる活動	動を支援する施策を3	で実します。		
担当課	農政部 農務課	内線 2229	目	2 土地改良	.費			根拠計画										
1.事業	の目的・概要(Plan)														事 主な指標	H27実績		
目的	・農業生産基盤である農地と野菜集出荷施設、 を農道で結び移動時間の短縮を図る。 ・農業基態である農地農道・用排水路等の整備 ・高山市地球温暖化対策地域推進計画に基づ 地域全体への新エネルギーの積極的な活用を	を行い、農業経営の5 き、温暖化対策として	安定を図る。	概要・広	域農道	(岩井町から	久々野町長	用排水路等の整 長淀まで)を新設 5事業費の一部で	する。				農業粗	生産額(畜産含む)	(年間)	214.8億日	239.7億円	9 205億円
2.事業	の実施結果等(Do)											(千円)	4.平月	龙29年度予1	算編成(Action	າ)		(千円)
	772711111111111111111111111111111111111				Н	27				H	28			H29予算		実施計画額		96,500
	歳出事業費 (職員人件費を除く)	,		最終予算	Į	決算	į (a)	当初予算((c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)		要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査	査定額-(c)
	「明見八円見さかい」			4	4,867		28,214	95	5,310	93,640	60,529	32,315		132,590	120,275	120,27	j	24,965
	国費()														
特定財源	県費()														
	その他(土地改良事業費5/100、8.75/100、	11.25/100等			8,350		6,444	2	7,200	18,438	20,167	·		42,240	37,840	37,840		10,640
一般則				3	6,517		21,770	68	8,110	75,202	40,362	18,592		90,350	82,435	82,43	i	14,325
個票枝番		9容			5.250									査定額		説明		
	広域営農団地農道整備						13,200	39	9,000	37,330	22,557	,		30,225				
	県営農村環境整備事業 小水力発電型(荘川中	境整備事業 小水力発電型(荘川中央用水)					0		350	350	225	225		17,750				
	県営中山間地域総合整備				2,917		9,684	39	9,000	39,000	20,300	10,616		45,000				
	県営かんがい排水整備				6,700		5,331	16	6,960	16,960	16,749	11,418		27,300				
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳												※入札に	影響するため公開に遊	適さないなど、記載省略()	※)する場合があります。		
3.平成	27年度事業実績、評価等(Chec		他	₩			·広域営農日	団地農道整備事	:業 道 小水力発	等(Check) H2 直路工、橋梁工 笔電整備型 施設設計		*	施策の実施方)生産・販売の強化に	関する施策の新規・	広充を検討す	すること
事業実績	京三年日間地区 用水路 用地補償、工事、 農・東高山地区 用水路 用地補償、工事、 農・東高山地区 測量設計業務 ・正川清見地区 測量設計業務 ・県営かんがい排水整備事業 ・上野平用水地区 用水路工事、 測量記 ・宮川右岸用水地区 測量設計業務	財発掘調査委	Ħ		事業実績	・東高山地・荘川清見・県営かんが・上野平用・宮川右岸	也区 測量設計 記地区 測量設計 がい排水整備事	業務 的 計業務 業 路工事、 首工改修	i、 測量設計業務、 立 §工事		強・塗装工事	担当調予算要ポイン	求・県の事業計画	面に基づく事業費負担	I			
評価等		にるよう事業費の	∼売電収入の長期的			•小水力発電		ることに	分に行う必要がある。 こより、用水管理が適切し	こ実施されるよう事業費	と売電収入の長期的	財務部 査定の 考えブ	・積算内容を精	查				
次年度 以降の 考え方 (担当課)	・引き続き県と調整を行い、事業推進を図る。						・県との調素 保を図る。	巻を密接に行い、	事業費	の把握に努めると共に	市と地元負担額の確	✓ 維持·改善/ 拡大/ 縮小/ 廃止検討/ H29完了/ H30完了予定	市長査の考え		Dとおり			

22 農務課 22 54200

事業シ	·一ト(平成29年度予算、平成28年度決算))													
		会計	1 一般会計			総 基本分野 1	産業·労働								
事業名	54210 土地改良事業費	予款	5 農林水産業費	<u>#</u>		計 10 別分野 5	農業			市長公約	・基幹産業の一	ーつである農林畜産業 動を支援する施策を発	その振興を目指し、農村 なまします。	ᡮ畜産業の <i>⁵</i>	生産基盤整
+D 1/ =B	曲 75 钟 曲 双三田	算 項 目	4 農業土木費			_	活気ある農業生産地づ	< 9		_	1佣に関わる店	期を又抜り る肥束をプ	[夫しまり。		
担当課	農政部 農務課 内線 2229	日	2 土地改良費			根拠計画								T	
1.事業	の目的・概要(Plan)								1			画等 主な指標	H27実績		
										農業粗生	王産額(畜産含む) 	(年間) ————————————————————————————————————	214.8億円	239.7億円	205億円
	・土地改良施設の機能保持と長寿命化を図る。														
目的	・小規模農家の多い中で、土地改良事業に伴う負担金を助成すること	こより、農家の経				おいて、その施設の長寿 :の補助(高根地域)	F命化等を図る取り組み!	こ対して支援する。							
	費軽減を図り、農業経営の安定化を促進する。														
2事業	の実施結果等(Do)				-				(千円)	4亚 尼	 ₿20年度予	算編成(Action	2)		(千円)
2. ** *	D 大旭帕未安(D0)			H27			H2	8	(113)	7. 1 /3	ペンター/文 か : H29予算		実施計画額		17,800
	歳出事業費		最終予算		決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算(b)	増減 (b)-(a)	5	要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査	を定額-(c)
	(職員人件費を除く)		21,6	59	21,132	20,565	20,565	20,308	△ 824		22,329	22,329	22,329		1,764
	国費 ()													
特定財源	県費()													
		E)	13,1	75	13,087	11,588	11,588	11,546	△ 1,541		13,175	13,175	13,175	,	1,587
一般財		·	8,4		8,045		8.977	8.762	717		9.154	9,154	9,154		177
個票枝番			-,		-,	2,211	2,211			3	全定額	2,121	説明		
	土地改良施設維持管理適正化工事		14,00	00	13,500	12,000	12,000	11,766	△ 1,734		14,000				
	農業用施設施設整備事業費補助金(債務負担)		4.2	.17	4,217	4.066	4.066	4.065	△ 152		3,538				
			<u> </u>	+		•									
			 	+											
			 	+											
				+											
				\perp											
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合	がおります	<u> </u>							% λ ±1 /−5	ど郷オスためハ悶!!!	適さないなど、記載省略(%	※)する場合がなります		
	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施			- 5 7	一一 ではって 年で	电类电线 预压	等(Check) H2			20 AUIC 8	2番りるにめが用に	過さないなど、記載目的(%	(7) する場点かめります。		
3.干戌4	27十度争未关模、計画等(UNBCK) FIZO.0关心	,		; j	一队20十段:	尹未天稹、計巡	寺(Grieck) FIZ	3.0天ル		施策の	典共玄充物。	の生卒 昨吉のみルに	- 明十 7	+ * + + + = + - +	- 7 - I.
										実施方針	+ 長林宙座初0	の生産・販売の強化に		4.九を快刮9	<u>೧</u> ೭೭
	克尔达尔达沙沙沙														
	・中切沈砂池浚渫工事・山口第1揚水機場ポンプ整備補修工事				. 四井川芒	機場ポンプ整備補修工神洞揚水機場ポンプ整									
事業実績	・ 滝揚水機場ポンプ整備補修工事・ 農業用施設整備事業負担金(債務負担)支払 8件			事業	·農業用施	設整備事業負担金、(債	長務負担)支払 10件			担当課					
	・農業用施設整備事業補助金(債務負担)支払 (高根地域)				・農業用施	設整備事業補助金(債)	務負担)支払 (高根地均	:)		予算要求ポイント		設の機能低下の防止 ⁴	や機能回復に必要な紅	≧費を計上	
										71.121					
評価等	・適正化事業は、今後実施する事業の精査を十分に行う必要がある。			評	·土地改良	施設維持管理適正化事	業採択拡大のため、県	貴拡充の働きかけを行	うことが必要である。	財務部					
										査定の考え方					
		[Z	維持·改善						☑ 維持·改善	3.2/3					
加左虫			拡大	٠,ـ	左				□ 拡大						
次年度 以降の	・適正化事業は県及び土地改良事業団体連合会への働きかけを行う。		縮小	以			業団体連合会への働き	かけを行う。	□ 縮小	ナミオ	5				
考え方 (担当課)	・債務負担金の終了する平成30年度までは事業を継続する。	_	廃止検討		え方 ・債務負担 当課)	金の終了するまでは事業	業を継続する。		□ 廃止検討	市長査がの考えが		かとおり			
			H28完了 H20宗マ系宗						□ H29完了						

22 農務課 23 54210

尹耒ン	一下(平成29年度予算、平成28年度决算)															
		会計	7 地方卸売市場事業特別会計				総 基本分野 1 産業・労働 (周別分野 5 農業									
事業名	11100 地方卸売市場施設管理費	款	1 総務負				計「個別方野」5 辰未				市長公約	・地産地消が作	本験できる拠点空間(施設)の整備に努め	ます。	
in was	算 第 7 th	項 目	1 総務管理費 1 一般管理費				画 施策概要 3 販路の拡大と流通の効率化									
担当課	農政部 農務課 内線 2222	根拠計画														
.事業(の目的・概要(Plan)											総合計画	画等 主な指標	H27実	H28実績	H31目標
											農業粗生産	額(畜産含む、	、年間)	214.8億	円 239.7億円	205億円
				・卸売市場の管理運営												
目的	・生鮮食料品の安定供給		概要・卸う													
Д.,	・生鮮食料品の取引の適正化、流通の円滑化		Jan 2													
2.事業(の実施結果等(Do)									(千円)	4.平成2	9年度予	算編成(Action	n)		(千円)
				H27				H	28		H29予算			実施計画額 30,800		
歳出事業費 (職員人件費を除く)			最終予算		決算	(a)	当初予算(c)	最終予算	決算 (b)	增減 (b)-(a)	要求	と額	財務部査定額	市長査定額	増減 査	全定額-(c)
			30,800			29,296	31,000	31,000	28,766	△ 530		28,353	30,600	30,60	0	△ 400
	国費()														
特定財源	県費 ()														
			30,800		29,296		21 000	21 000	20.766	A 520	 	20 252	20 600	20.60	0	△ 400
	その他(せり場売上高使用料他)			-			31,000		28,766	△ 530		28,353	30,600	30,60		
一般財		0		0		0	0	0	0		0	0		0	0	
固票枝番	主な事業内容										査定			説明	兑明	
	指定管理委託料		24,860			24,526	24,860	24,860	24,808	282	24,860					
	市場整備基金積立金		4,400			4,000	3,300	3,300	3,300	△ 700		3,000				
										I						
	※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります								※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。							
3.平成2	27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施		<u> </u>	_	5.平成28	8年度事	事業実績、評価	等(Check) H2	9.8実施	<u> </u>						
				ĪΙ							施策の 実施方針	•農林畜産物	の生産・販売 の強化	ンに関する施策の新 持	見・拡充を検討	すすること
										l i	夫肔力缸					
	・市場運営協議会にて市場における売買取引に関する事項を調査審議した。・市場のあり方について関係者と随時検討した。		・市民等への生鮮食料品の安定供給及び品質保持管理に努めた。 ・市場運営協議会にて市場における売買取引に関する事項を調査審議した。 ・市場のあり方について関係者と随時検討した。 ・公設卸売市場の年間総取扱数量 13.498トン													
事業実績	・市場施設の損傷個所を修繕し、生鮮食料品の品質保持管理に努めた。									担当課						
	・公設卸売市場の年間総取扱数量 14,539トン									予算要求						
				ΙiΙ							ポイント					
				Hil						l i						
				d i ⊦												
				Ш												
評価等	・卸売業者の経営改善に向けた指導及び支援を実施するとともに、隣接する卸	商業センタ					業者の経営改善に向けた指導及び支援を実施するとともに、隣接する卸商業センターを含めた卸									
nım 4	売市場の将来構想を検討する必要がある。		計価等		F	売市場の将	市場の将来構想を検討する必要がある。					・積算内容を料	≛本			
									査定の 考え方	スチャッセで作	HH					
次年度 以降の		1 21	維持·改善	1			☑ 維持·改善									
				次年月以降に大きない。			□ 拡大 □ 縮小									
	・知事主根の合体のもりまた日期に検討する					和古士坦人										
考え方	・卸売市場の今後のあり方を早期に検討する。	D	廃止検討			· 叫冗巾场(場の今後のあり方を早期に検討する。				市長査定の考え方	·財務部査定0	のとおり			
(担当課)		ı —	H28完了		(担当課)					☐ H29完了	3.2,3					
		H29完了予定 				□ H30完了予定										

22.農務課 24 7-11100